

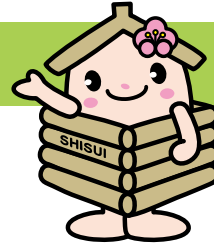
酒々井学 副読本

いいね！酒々井



酒々井町教育委員会

目次

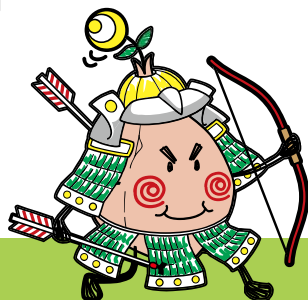


酒々井学を学ぶ「しすいっ子」のみなさんへ	1
1. 酒々井学 Q & A	4
2. こども模擬議会 質問内容一覧	21
3. 「酒々井町への願い」児童作成シート	28
4. 酒々井をささえる人々	34
5. 酒々井の先輩「広島東洋カープ 坂倉将吾選手」	44
6. 酒々井のチャレンジャー「SASUKE出場 日置将士さん」	46

資料編

● 学校郷土資料館（展示資料の見方・考え方）	50
● 酒々井学インフォメーション（図書資料・リーフレット・情報スポット）	53
● 酒々井町ガイド	57
● 酒々井の民話	59
● 酒々井の古写真「かつての印旛沼、そして酒々井町」	63
● 酒々井の里山図鑑	71
● 酒々井の歴史（郷土史年表）	83

著者関係者・機関



酒々井学を学ぶ「しすいっ子」のみなさんへ

酒々井町教育委員会教育長

ふるさと

♪うさぎ追いしかの山 小ぶな釣りしかの川 夢^{ゆめ}は今もめぐりて
忘れ^{わす}がたきふるさと

いかにいます父母 つつがなしや友がき 雨に風につけても
思い出^いづるふるさと

こころざしを果^はたして いつの日にか帰らん 山は青きふるさと
水は清きふるさと♪



みなさんは、他の町から来た友だちや外国の人に、酒々井町のよさを話すことができますか。町に住んでいても、なかなか自分の町のことをわかりやすく伝えることはむずかしいことです。

私たちのまわりには知っているようで知らないことがたくさんあります。「知らない」ということを知ることで、知りたくなって知ろうとする。このことを「無知の知（むちのち）」といいます。学ぶということは、これがスタートとなります。つまり、町のことを知らないことがわかって知りたいと思う。そのことが、酒々井学の始まりなのです。

子どもの時に自分がくらす町の中で体験^{たいけん}したことは、大人になっても心の中でずっと生き続けるものです。これから君たちが生きていく長い人生^{じんせい}の中で、何かきれいな景色^{けしき}や感動^{かんどう}するモノに出会った時、この子どもの時に体験した様々な^{さまざま}出会いが基^{もと}となって君たちの瞳^{ひとみ}にうつります。このことを心の原風景（げんふうけい）といいます。

このすばらしい歴史と文化と自然が残る酒々井町で、たくさんの原風景を君たちの心の画用紙^{えが}に描いてください。そして、やがてこの酒々井町から世界にはばたいていった時に、この町のよさをたくさんの人たちに伝えられるすばらしい「しすいっ子」になってください。

酒々井学ってなに？

まずはこの質問に教えてください。

- ・酒々井町のじまんベスト3は何かな？ () () ()
- ・他の町の人に酒々井町のことをどれだけ説明することができますか？ () つ
- ・酒々井町のことを調べる方法をいくつ知っていますか？ () つ
- ・酒々井町をよくするために何かしようと思ったことがありますか？
- ・酒々井町に住んでいてよかったと思いますか？

どうですか、答えられましたか？

酒々井学はこの質問に答えられるような「しすいっ子」になってもらうための学習です。つまり、酒々井町の歴史・文化・自然などについて知ることで、自分たちの住む町に対して、「いいな！」とか「すごいぞ！」という思いをもって、「ここが自分たちのふるさとなんだ！」という気持ち（ふるさと意識）を育てることをねらいとしています。

だから、みなさんが酒々井町の歴史を感じる物や生き物を見たり、町で行うイベントに参加したりすれば、もうそれが「酒々井学」を学んでいるということなのです。

でもどうやって学べばいいかわからないよね。そんな君たちのために学び方のヒントです。

どんなことを学ぶの？

たとえば・・・

(⇒ P88～90) 「酒々井の自然・文化・歴史」

①歴史であれば（墨古沢遺跡・本佐倉城跡・酒々井宿 など）

「いつ・だれが・何のために・どのようにしてつくったのか？」などを学びます。

②文化であれば（獅子舞などの地域の祭り・酒の井伝説などの民話・石仏 など）

「どんな願いがこめられていて、どのように受けつがれてきたのか？」などを学びます。

③自然であれば（印旛沼・里山・谷津田 など）

「どんな環境（かんきょう）でどのような生き物がいるのか？」などを学びます。

④その他 たとえば産業であれば（米作り・らっかせい作り・酒造り など）

「はたらいている人の工夫や努力や人と人とのむすびつきは？」などを学びます。

酒々井町について調べた後には、自分が感じたことや思ったこともメモしておきましょう。町の「いいな！」とか「すごいぞ！」をたくさん感じて、酒々井町に親しみをもってください。さらに、どうすれば町のよさを守れるのか、もっとよくするにはどうすればよいのかまで考えてみんなと話し合っ、自分から何が行動することができたらとてもすばらしいことです！

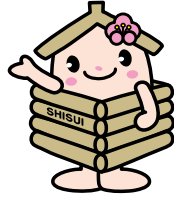
どのように学ぶの？

町の歴史・文化・自然とふれあうために、「行ってみよう」・「見てみよう」・「感じてみよう」

どこに行けばいいの？

➡①ガイドマップでさがそう！

「酒々井ガイドマップ」って知ってる？これを見れば、町の歴史・文化・自然のことがだいたいわかるよ。地図もあるので、まずは近くのポイントに行ってみよう！



②くわしく調べるには？

くわしく調べたくなったら町のホームページ「ようこそ酒々井町へ」などやリーフレットや図書館の本や施設で調べたり、町役場の学校教育課や生涯学習課に行ったりして質問してみよう！ (➡P54・55)「酒々井町のリーフレット」

どのように見ればいいの？

➡①どうしてここにあるのかな？

まわりの土地や建物の様子や地図を見て、そこにある理由を考えてみよう！

②情報を手に入れよう！

近くにいる人に聞いたり、カメラでさつえいしたり、案内かんばんなどを見たりして、情報を手に入れよう！



どうやって感じるの？

➡①広さや大きさはどのくらいかな？

歩いた歩数やうでを広げて太さをはかるなど、自分の手足などのからだを使って大きさをはかたり、まき尺などを使ったりするといいよ。

②五感(ごかん)をつかおう！

目・耳・鼻・舌・皮ふの五つの感覚器官(かんかくきかん)を使って、見る・聞く・かぐ・味わう・さわることで、モノやそのまわりの様子を感じてみよう。

★調査に行く時の5つの約束

- ①お家の人に「行き先・いっしょに行く人・帰る時こく」などを知らせておこう！
- ②学校で禁止されているあぶない場所に行ってははいけません。
- ③毒のあるマムシやスズメバチなどのあぶない生き物に気をつけよう！
- ④お寺など人が住んでいる所では、その人にことわってから入ろう！
- ⑤生き物のいのちを大切に、つかまえても観察した後は、はなしてあげよう！

1. 酒々井学 Q&A

ホタルの里	4 学年	理科・総合	ホタルの里
-------	------	-------	-------

Q 1 なぜ酒々井町にホタルの里ができたのかな？

生き物と水は大きく関係しています。生き物は、子孫を残すために自分たちに合う環境を選びます。酒々井町には、わき水、水路、田んぼ、池、小川と生き物にあった水が豊富です。

酒々井町の豊かな緑と美しい水、すばらしい自然環境を守り育て、次の世代に引きついでいくことを目標に、「ホタルの里を守ろう会」ができました。その会員の方々の努力によってホタルの里ができたのです。(→P36)



ホタルの里の観察

Q 2 ホタルの里ではどんなホタルが見られるのかな？

ゲンジボタルとハイケボタルの2種類です。

ゲンジボタルは、千葉県ではいすみ市で多く見られますが、佐倉市周辺でも見られます。体長は14から18ミリメートルと大きいです。5月下旬頃からおすがいっせいに光ります。幼虫は山里の清流に生息し、エサはカワニナを好みます。「ホタルの里を守ろう会」の方々の努力によって、酒々井町でもよみがえりました。

ハイケボタルは、九州から北海道で見られます。体長は10から12ミリメートルと小さいです。おすが長く糸を引くように光つてめすに近づきます。わき水のある水路や田んぼで育ちます。



ゲンジボタル

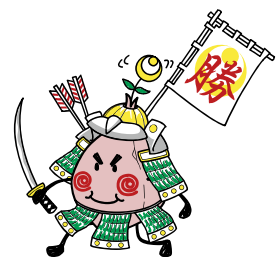
Q 3 ホタルはどんな一生をおくるのかな？

初めに産卵です。めすは、水際のコケの上に卵を産みます。

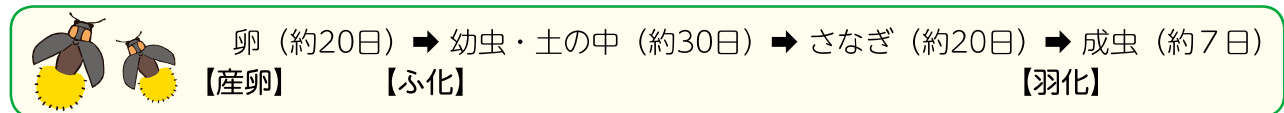
次に、卵から幼虫になります。これをふ化といいます。ゲンジボタルは1か月、ハイケボタルは20日かかります。ふ化した幼虫は、水中でカワニナなどを食べて砂利の下などで生活します。ゲンジボタルはきれいな水の流れを好みます。ハイケボタルはおもに田んぼに生息し、流れを好みません。

続いて、水から上がり、しめった土の中に1か月ほどもぐった後、さなぎになります。ハイケボタルは20日間ほどさなぎの状態が続きます。

最後に、さなぎから成虫になります。これを羽化といいます。土の中から出て、水辺を飛んでパートナーを探します。成虫後のじゅ命はゲンジボタルで約2週間、ハイケボタルで約1週間です。



【ハイケボタルの一生】



Q 1 酒々井の生き物の達人のお話を聞こう！

自然豊かな酒々井町には、たくさんの生き物が生息しています。生き物の様子は、春・夏・秋・冬と季節ごとに変化があり、調べていくととてもおもしろいです。

しかし、その生き物について生息している場所で観察したり、本などで調べたりしてもくわしくはわかりません。

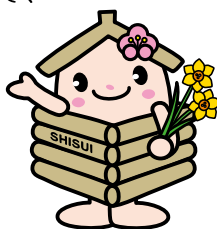
酒々井町の生き物にくわしい自然同好会の方たちと共に観察を

すると、わかりやすく説明をしてくれるので、

自分の興味のある生き物に出会えます。

そんな生き物を見つけたら同好会の方に質問をして、さらに図鑑などで調べてわかったことをみんなに伝えましょう。

(→P35)



自然同好会

Q 2 みんなに伝えるにはどんな方法があるのかな？

調べたことをお世話になった自然同好会の方や来年に学習する3年生に向けて、ポスターやパンフレット、クイズ形式や紙しばいなどの伝えやすい方法を選んで発表しましょう。

発表することがゴールではなく、酒々井町の自然のよさに気づいたことを生かして、これからも自然を大切に守るとともに、酒々井町のよさを伝えていくことが大切です。



ポスター



紙しばい



パンフレット

【まとめる時のポイント】

1. タイトル（見出し）はみんなが知りたくなるような工夫をして大きく書きます。
2. 調査方法を書きます。（図鑑名・事典名・ウェブサイト名・教えてくれた人の名前など）
3. 生き物のスケッチや写真や見つけた場所の地図とその様子などをかきます。
※生き物の体のつくりなどは、特徴をよく見て正しくかきましょう。
4. 文字はたくさん書かずに、大切な言葉（キーワード）だけを書きます。
5. 最後に調べた時の感想やこれからどうするか、自分の考えまで書ければ最高です！



Q1 米作りにはどのような作業があるのでしょうか？

時期	作業	作業のようす		作業内容
3月下旬	くろつけ			田んぼの土を取って壁 ^{かべ} をつくり、畦（あぜ）を ^{じょうぶ} 丈夫にして水もれを防ぎ、まっすぐにつけられるように気をつけます。
4月上旬	種まき			育苗箱（いくびょうばこ）と呼ばれる箱に、自動種まき機 ^{きんいつ} で均一に種をまけるように気をつけます。
4月上・中旬	稲の育ち方			ビニールハウスの中に並 ^{なら} べた育苗箱で、丈夫に元気に育つように、水かけをきちんと行います。
4月上旬	田おこし			春の乾燥 ^{かんそう} した時期に、田んぼの土を乾燥させ、土を細かくするために ^{たがや} 耕します。今年も忙 ^{いそが} しくなりそうだと一番に思う時間です。
4月中旬	肥やしふり			育つために必要な栄養が入った肥料を均一にまいて、田んぼの土を豊かにします。

時期	作業	作業のようす		作業内容
4月中旬	草かり			田植えで楽に歩けると共に、穴があいていないかなども注意し、真夏も含めて4回草をかります。とても暑い夏の作業は大変です。
4月下旬	しろかき			土の表面を平らにし、水が全体にいきわたり、除草剤がよくきくように神経を使って、均一にしろかきをします。
4月下旬	田植え			1か所あたりの本数を調整しながら、かり取りの時に影響が出ないように、まっすぐに植えつけます。
9月上旬	稲かり・脱穀			コンバインで米をかり取り、稲からもみははずす脱穀という作業も同時に行います。今年の収穫のでき具合や量をみます。
9月中旬	乾燥・粃すり			米を乾燥させ、もみからもみがらを取りのぞき、米のでき具合や大きさ、異物の混入などを確認するので一番気をつかう作業です。
11月中旬	秋の田おこし			今年の収穫に感謝して、稲わらをすきこんでくさらせ、土の中に空気(酸素)を入れて、良い土にして次の年の肥料にします。

Q 1 酒々井町について調べるのに何かいい資料はないかな？ (➡ P54・55)

- 酒々井ガイドマップ …大きな地図の中に見学ポイントの場所と、解説がのっています。
- TOWN GUIDE …北部、中部、南部それぞれの魅力を写真入りで解説しています。
- ことりっぶ酒々井 …おすすめの場所や料理、おみやげなどを分かりやすく紹介しています。
- 千葉県酒々井町じゃらん …酒々井の魅力を味わうおすすめプランを多数紹介しています。
- 酒々井暮らし …町の暮らしに役立つ合計106のお店や施設・スポットを紹介しています。
- 酒々井サイクリングMAP …町内の4つのサイクリングコースと見どころを紹介しています。
- 酒々井町グルメマップ …料理を楽しめるお店を地図とともに紹介しています。
- 酒々井町推奨品 …酒々井町でおすすめの品を地図とともに紹介しています。
- ふるさと納税謝礼品カタログ …ふるさと納税謝礼品を写真と解説入りで紹介しています。
- 国指定史跡 本佐倉城跡 …本佐倉城の歴史やつくり、千葉氏の歩みなどを解説しています。
- 国指定史跡 本佐倉城跡散策マップ …本佐倉城跡の散策ルートやポイントを紹介しています。
- 成田道佐倉城下 旧酒々井宿を歩く …旧酒々井宿の見どころを紹介しています。
- 墨古沢遺跡 …墨古沢遺跡について、写真や絵とともに解説しています。
- 酒々井町登録有形文化財 島田長右衛門家 …昔の商家の島田家について解説しています。
- すい・ハーブガーデン …ハーブガーデンの中で見られる様々なハーブを紹介しています。

Q 2 資料はどのように活用してレポートにすればいいのかな？

- 1 お店などについては、すでに閉店している場合があるので確認しましょう。また、グルメ情報等は実際に自分が食べて感じたことも書くことで、説得力のあるレポートになります。
- 2 史跡や観光地については、資料をそのまま使わないで、実際に自分の目で見て感じたことも取り入れることで、行ってみたいと思えるレポートになります。

Q 3 私たちの作品をたくさんの人に見てもらおう方法はあるのかな？ (➡ P56)

みなさんが学校で作成した作品は、町の「ふるさとまつり」で中央公民館に掲示したり、アウトレット側の情報発信館「まるごとすい」に展示したりして、たくさんの人に見てもらえます。

だから正しい情報を発信することが大切です。



ふるさとまつり



まるごとすい

Q 1 どうして海から離れた酒々井町で貝が見つかるのかな？

酒々井町は、標高30メートルぐらいの高台と水田として利用されている低地からできています。台地と低地の境は急ながけになっていて、このがけの中ほどにたくさんの貝がつまった層（貝層）があります。

これは約20万年前に、古東京湾（大むかしの東京湾）とよばれる海に生息していた貝の化石です。

このころの地球は、非常に寒い氷河期と比較的に暖かい間氷期がくり返されていました。この上岩橋貝層では、エゾマテガイなどの寒い海にすむ貝を中心に120種類以上の貝が見つっています。

このように大むかしの酒々井町は海であったことから、たくさんの貝の化石が見つかるのです。



上岩橋貝層



貝化石

Q 2 他にはどのようなモノが見つまっているのかな？

氷河期には、地球上の水が氷河として凍ることで海水がへります。日本はアジア大陸とつながり、ナウマンゾウが房総の地を歩き回っていました。また、暖かい時代には氷が溶けて古東京湾が深くなり、クジラが泳ぎ回っていました。昭和50年、当時の中学生が東酒々井団地の造成地（JR酒々井駅近くのくじら公園）で、クジラの骨の化石を発見しました。これは、約15万年前のクジラのおなかあたりの骨の化石であることがわかりました。



ナウマンゾウ

Q 3 酒々井の土地はどのようにしてできたのかな？

気候変動により寒い時期（氷期または氷河期）には氷河が発達し、海水がへって陸地がふえ、暖かい時期（間氷期）には氷河が溶けることで、海水がふえて陸地がへるということがくり返されました。

その中で、海底では土砂や生物の死がいがい積し、陸地では河川による土砂のたい積やしん食が起こり、また火山のふん出物（関東ローム層）がたい積した結果、台地や河川・谷といった関東平野の基礎ができました。

10万～5万年程前には、海面が少しずつ低くなって海岸線が退き、現代とほぼ同じ位置に古東京湾があり、利根川がそこへ流れ込んでいました。約3万年前には、海岸線の後退が最も大規模だった時期で、今より広い台地に、現在流れている河川の元の河川が流れることで、台地がけずられ谷（谷津田）がつくられました。

クジラの骨化石
(大室台小 所蔵)

Q 1 墨古沢遺跡はどんな所なのかな？

東関東自動車道の酒々井パーキングエリアを広げる時に発見された約3万4千年前の旧石器時代の遺跡です。そこでは石器（石の道具）がたくさん集まっている場所が複数あり、それが円形のドーナツ状（環状ブロック群）になっていることがわかりました。大きさは推定南北70メートル、東西60メートルにもおよぶ日本最大級のものです。

環状ブロック群は、氷河期の中でも、やや暖かい気候であったころに限って見られます。

千葉県では、全国で見つかっている117遺跡のうち約半数の53遺跡が発見されていて、その多くが印旛沼周辺にあります。



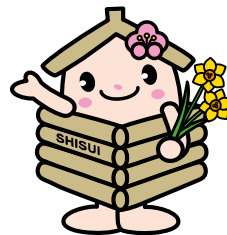
墨古沢遺跡

① どんな人が環状ブロック群を作ったのかな？

石器を作るために割られた石どうしを合わせたり同じ石を分別したりして、そのまとまりを見ると、石材の産地が1ヶ所でないことから、各地から集まった複数の集団がいたと考えられます。これらの集団はお互いに協力し合って石器などを作っていたと考えられます。

② どうして環状ブロック群を作ったのかな？

狩りをした大型動物の解体を協力して行うために、一時的に集団が集まって環状集落がつくられ、中央の広場は、解体や調理などの日常の作業を行う場所として使われていたと考えられます。またそこでは集団間のつながりを確認したり、石器や石材の交かんや獲物に関する情報交かんなども行ったりしていたと考えられます。



Q 2 旧石器時代の人はどんなくらしをしていたのかな？

旧石器時代は人類が日本列島に登場する約3万7千年前から最古の土器が登場する約1万6千年前（縄文時代の始まり）の約2万年以上続いた時代です。

気温は、今より7～8度も低く現在の八ヶ岳（長野県）のような気候でした。そのため、海水が凍って、今の海岸線から100メートル近く後退していました。つまり陸地が多かったのです。

彼らのおもな食料は、今では絶滅しているナウマンゾウやヤベオオツノジカなどの大型の動物でした。動物を追って狩猟をする狩人は、同じ所でくらすずにテントのような簡単な家を使った移動生活が中心の旅人でした。彼らが使う道具は、石を打ち欠いて作った打製石器（台形様石器・ナイフ形石器・尖頭器・細石刃など）の槍や動物の骨や角で作った骨角器などの狩猟具が中心でした。

① 移動生活の旧石器時代から定住生活の縄文時代が変わったのはどうしてかな？

② 縄文時代になって、狩猟の道具として弓矢が登場したのはどうしてかな？

— おおむかしの酒々井の旅人 ~墨古沢の旧石器人物語~ —

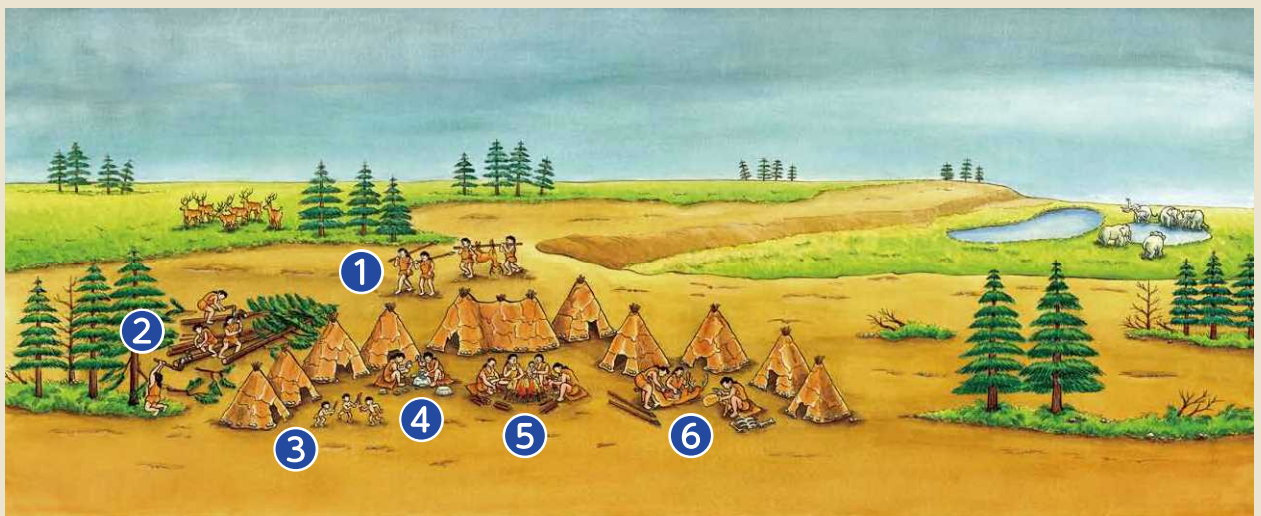
ここは印旛沼のそばの酒々井墨古沢です。

水辺にはナウマンゾウやオオツノジカが水を飲みにやっています。台地の上では、北から獲物を追ってやってきた20名ぐらいの狩人のグループが動物の毛皮でまいたテントを作って野宿をしています。やがて他のグループもやってきて、100名ぐらいの集団になりました。

狩りの獲物は水辺にやってくる大きな動物たち。それをみんなで力を合わせて、沼地に追い込みます。そして、身動きがとれなくなった動物を大きな石や石で作った槍（石器）でしとめるのです。獲物の肉はみんなで分け合って食べ、毛皮ははいで加工してから、ぬい合わせて服を作ります。

ここでは、狩りをする他に、石器を作ったり、獲物や石器の石が取れる場所などの情報交換をしたり、時には他のグループ同士で結婚もしました。

「その槍の石はどこでとってきたんだ？」遠くはなれた長野の地からやって来た男が持つガラスのような黒い石についてたずねると、その男は、「この石は火の山の近くでとってきた。この石なら獲物によくささる、するどい槍を作れるぞ!」と教えてくれました。



- ① 「おい待ってくれよ!このシカは重いよ」「この槍でとったから運ぶのはおまえらだよ!」
- ② 「この木はずいぶん固いな。石おのがかけてしまったぞ!」「そうだな!だけど次の狩りまでに丸木舟を作っておかないと困るぞ!」
- ③ 「えい!さっき狩人のおじちゃんから教えてもらった狩りの仕方だぞ!」「こらっ!棒を持ってぼーっとしてんじゃないぞ。狩りは力を合わせてするもんだぞ!」
- ④ 「この石はあまりいい石じゃないなあ。よく切れないぞ!」「さっき火の山から取ってきた黒い石を持った男に会ったぞ!」「その石ほしいなあ!」
- ⑤ 「この肉、うまいなあ。何の肉だい?」「ほら!あいつらがとってきたシカの肉だよ!」
- ⑥ 「その皮をはいでなめして服を作ろう!」「骨も道具として使えるから大切にしろよ!」

Q 1 源氏の時代になっても平氏に関係する千葉氏が生き残れたのはなぜかな？

平安時代の中ごろ、房総を支配していた天皇の子孫の平将門は土地のうばい合いから反乱を起こし、新皇と名のりますが、戦いで負けて死んでしまいました。その後、平忠常が再び反乱を起こしました。しかし、朝廷から源頼信が反乱をしずめるように命じられたことを知ると、戦わずして降伏しました。忠常は京都に連れていかれる途中で病死しましたが、その子の平常将は頼信の恩情により罪を許され、領地もとられませんでした。

常将は城を下総（千葉市）に移し、初代千葉氏を名のり千葉常将となりました。以後、千葉氏は源氏に忠誠をつくすようになります。平安時代の終わりごろ、源氏と平氏が戦った平治の乱で平氏に敗れ殺された源義朝の子である源頼朝が、伊豆（静岡県）で平氏を倒す兵をあげました。しかし、石橋山の戦いで敗れ、千葉に逃れてきた時、5代目の千葉常胤はすぐにつけつきました。このことが頼朝に認められて、下総地方の支配を任せられるようになります。こうして、千葉氏は平氏の流れでありながら源氏に従う道を選んで生き残ったのです。



Q 2 関東の名族となった千葉氏が滅んだのはなぜかな？

【九州千葉氏】

千葉氏は九州（佐賀県）に領地を持っていました。そのため鎌倉時代に元（中国）が日本を攻めて来た時、幕府の命令で千葉頼胤と宗胤の親子が元と戦うために九州へと出かけました。しかし、頼胤は戦いで受けた傷がもとで九州で死に、宗胤は元が再び攻めてくる怖れがあったため九州から離れることができませんでした。そこで、千葉氏は弟の胤宗がつぐことになり、ここで千葉氏は九州千葉氏と下総千葉氏に大きく分かれることになったのです。

【一族の分裂（ぶんれつ）】

室町時代以後、千葉一族はしだいに分立・独立することによっておとろえていきました。やがて室町幕府の役所である鎌倉府の内部で争い（享徳の乱）が起こると、千葉一族もその争いにまき込まれ争うようになりました。千葉氏の千葉胤直一族を滅ぼした叔父の馬加康胤が、千葉氏をつぎましたが、その子孫は荒れた千葉城をすて、酒々井に本佐倉城を築いて移りました。

【千葉氏の滅亡】

その後、戦国時代後期には小田原城（神奈川県）を本きよ地とする北条氏に従うことになります。しかし、天正18（1590）年、全国統一を目ざした豊臣秀吉が小田原城を攻めると、千葉氏の当主であった千葉重胤は一族とともに小田原城に入城しました。その後、北条氏が秀吉に降伏すると北条氏に従っていた千葉氏も領地をとられて、ここに関東の名族といわれた千葉氏は滅ぶことになったのです。



Q 1 本佐倉城はだれが築いた城なのかな？

室町時代の後半になると室町幕府の力がおとろえて、戦国時代になっていきます。幕府で関東をまとめていた鎌倉公方（かまくらくぼう）と関東管領（かんとくかんれい）の間でも争いが起こり、享徳の乱となります。これは千葉氏にも影響を与えて、千葉胤直（16代）の叔父の馬加康胤が胤直を攻め滅ぼし、千葉康胤（17代）となります。

しかし、室町幕府は千葉氏の同族の東氏に命じてこれを攻めました。康胤が敗死し、その子の胤持が18代をつぎましたが、病死したため、岩橋城にいた岩橋輔胤が千葉輔胤（19代）となりました。その後、東氏の軍が敗れた後に室町幕府をゆるがす応仁の乱が起きて、幕府の軍が京都に戻りました。そのため千葉一族としての力をもり返し、平山城（千葉市）から寺崎城（佐倉市）をへて、本佐倉の地に城を築いたのです。



Q 2 本佐倉城はどのような城なのかな？

1. 城を築いたのは1469年～1486年の間で、1590年の豊臣秀吉の小田原攻めで北条氏と共に滅び、城を明け渡しました。
2. 城を中心に、「佐倉・酒々井・鹿島・浜宿」の4つの城下町がありました。
3. 城の守りとして、「馬場・虎口・空堀・土塁・櫓台・堀切・郭」などがとてもよく保存されています。
4. 本佐倉城の3代目の城主である勝胤の時代に下総（千葉県北部）の政治・経済・文化の中心になり、和歌をまとめた『雲玉和歌集』の編さんをしました。
5. 半島状にのびる標高30メートルの台地の東、北、南の三方面が印旛沼水系による低地に囲まれた天然の要害で、印旛沼・利根川の水運を使うことができました。
6. 印旛沼は周辺地域の交通の中心であったため、経済的な発展が望めました。
7. この周辺地域の印東庄がすでに千葉一族の領地であり、岩橋輔胤の本拠地である岩橋からも近く、周辺の地理にくわしかったと思われます。



本佐倉城跡



本佐倉城跡（鳥かん図）

Q 1 千葉氏まつりで競馬（きそいうま）が行われているのはなぜかな？

戦国時代から城下町であった酒々井には千葉氏の軍馬（武士が使う馬）と野馬牧（牧場）を管理する武士がいました。延徳2（1490）年8月12日に千葉氏の本佐倉城に城下町が生まれ、この日を祝って町の鎮守である八幡神社（佐倉市）で祭りが行われました。

天正18（1590）年に千葉氏が滅んだ後、徳川家康が本佐倉城の城下町をつくり直し、城下の武家屋敷地を宿場に変えて、祭りは宿場である酒々井町で行われるようになりました。その中で、毎年8月12日に酒々井上宿の八坂神社から高札場（役場入口交差点）までの街道を馬場として、競馬が行われるようになりました。

Q 2 野馬牧（のままき）とはどのようなものなのかな？

戦国時代に放牧場として利用されていた下総（千葉県北部）の広大な台地を整備して、江戸幕府が軍馬や使役馬（作業用の馬）の生産のため、小金五牧、佐倉七牧と呼ばれる直営の馬牧を置きました。

佐倉牧は、幕府が管理する四牧と佐倉藩が管理する三牧に分けられました。馬が逃げないように野馬土手で囲った面積約180平方キロメートルの土地に、野馬約3000頭が放牧され、毎年約200頭の野馬が捕えられました。野馬会所（島田家）で馬牧の管理をしたのは牧士（もくし）と呼ばれ、千葉氏の時代から馬牧を受け持っていた千葉氏の旧家臣でした。



野馬土手

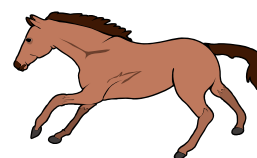
Q 3 野馬会所（のまかいしょ）とはどんな所なのかな？

江戸幕府の軍馬生産のための馬牧の管理事務所が野馬会所です。酒々井宿においた野馬会所では、馬の管理、材木などの取引が行われ、地域の経済をささえました。

酒々井町の野馬会所には、佐倉四牧の管理と七牧の野馬捕りのための施設があり、牧士頭（もくしがしら）をはじめとした人々が大勢つとめていて、近くの210か村の協力で馬牧の運営をしました。

毎年秋に行われる野馬捕りと馬御払というセリの払い下げ行事は、馬牧の最大の行事で、勢子廻、捕手、綱掛の十数名も加わり、村から集められた人足である追勢子を牧士が指揮して馬を捕まえました。捕まえた馬は、各牧の捕込場で御払をし、売れ残った馬は酒々井の野馬会所でセリにかけました。

日常の管理は三牧と四牧は別ですが、野馬捕りと馬御払は酒々井で行ったので、当日は幕府や佐倉藩の役人、七牧の牧士等や近くの村の手伝い、馬を買う人である馬喰、見物人等が大勢集まり、酒々井宿はお祭りのような雰囲気になったと伝えられています。



Q 1 酒々井小学校前の道路のまわりに古い建物があるのはなぜかな？

旧酒々井宿は平安時代に村としてたん生し、戦国時代には本佐倉城の城下として、千葉氏をはじめとした武士たちが活躍した土地でした。

天正19（1591）年に徳川家康の命れいで、千葉氏の城下町をつくり直して、宿駅として町づくりが行われ、宿場町の酒々井宿ができました。

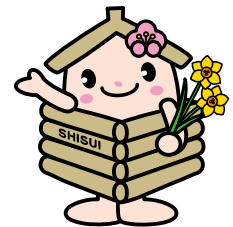
このときに一里塚（旧成田信用金庫跡）から麻賀多神社までの長さ約750メートル、幅約150メートルにわたって町の整理を行い、上宿、中宿、下宿、横町の街区がつけられました。酒々井宿は佐倉城の城下町として機能し、江戸中期には芝山街道の三差路から中川境の桜山（築山）までの間に、野馬会所や勝蔵院を中心とした現在の町割が整いました。この酒々井宿では、明治時代の初期まで競馬をはじめ、年に三度の祭礼が行われて、近くに住む人々が大勢集まったと伝えられています。



Q 2 酒々井宿や成田道は何のためにつくったのかな？

成田道は成田、佐原を経て小見川へ向かう街道で、小見川藩と高岡藩の参勤交代の道でした。また江戸後期には成田山新勝寺、滑河観音などの参詣路として使用されていた道でもあり、以前は約800メートルにわたり松並木もありました。酒々井宿から成田までの距離は短く、通り過ぎる旅人もいて、大きな宿場ではありませんでしたが、八坂神社から勝蔵院あたりまで旅籠や茶店がならび、にぎわっていたようです。平和な時代をむかえ、町民文化がさかんになり人々のくらしが豊かになると、信仰と行楽をかねた旅行ブーム（物見遊山）が occurs

ます。また、子どもにめぐまれなかった歌舞伎役者の初代市川團十郎が熱心に信仰し、男子が生まれたことなども、成田参詣がいつそうさかんになった理由の一つともいわれています。



酒々井駅の図

Q 3 道の古い石碑は何のために置いたのかな？

多くの人々が酒々井町の街道を利用しました。このため酒々井の道には旅人の道中案内の道標（みちしるべ）が多く見られます。

道標は道路の分かれ道などに立てられた現代の道路標識で、旅人が多くなった江戸時代に、道に迷わないように目的地までの距離や方向を示すために置かれました。



道しるべ

Q 1 仕事とボランティアの同じ所と違う所は何か？

ボランティアとは、自分の考えや思いで他人や社会のためにお金などをもらわずに活動することで、^{ほうし}奉仕活動ともいいます。

一方、仕事は自分が生活するためにお客様や社会のために働いてお金をもらいます。ただし、すべての人が自分の^{きょうみ}興味のある仕事についているとは限りません。

そこで一番よいのは、自分の力を生かせるやりがいのある仕事について、社会に役立つことです。そのためには、子どもの時から自分にはどんな仕事がふさわしいのか調べたり、体験したりすることが大切です。私たちが住んでいる酒々井町にも自分の興味のある仕事について、生き生きと働いている仕事人がたくさんいます。

【仕事かな？ ボランティアかな？ 自分たちの働き方について、話し合ってみましょう！】

①家の人のお手伝い ②学校の係活動・当番活動・委員会活動 など

Q 2 酒々井町にはどんな仕事人がいるのかな？

BODY SHOP サンライズ



私は自動車^{ばんしん}钣金^{とそう}塗装業をしています。車の事故^{じこ}修理^{しゅうり}がメインですが、車検整備^{しゃけんせいび}販売^{はんばい}などもやっています。仕事の魅力^{みりよく}は自分の技術で車が元にもどり、お客さんに喜んでもらえることです。厳しさは自営業なので技術の習得^{しゅうとく}を含め^{ふく}全ての責任があることです。お客さんの立場^{まんぞく}で考え、ニーズに応えて満足してもらおうようにしています。

小坂石材



私は石を専門的に扱^{あつか}う仕事をしています。この仕事の楽しさは、石という固い材料を使っているので自分が作ったものが何年も残ることです。仕事で大変なことは特にありません。仕事をするにあたって気をつけていることは、自分にしかできない仕事、自分だからこそできる仕事をするということです。

キタガワ電気・つるおかでんき



私たちの仕事は機械を相手にするだけではなく、人と人のつながりがとても感じられる仕事です。修理が困難な時もありますが、お困り事を解決できた時のお客様の笑顔は何よりも励みになります。気をつけていることは量販店よりも工事を丁寧にし、かつ、お客様のことを自分や自分の家族と同じ目線で考えて商売をすることです。

えいきの鍼灸整骨院 しんきゅうせいこついん



体のことで困っている人をマッサージやハリ、おきゅうを使って治す仕事です。仕事の魅力は身体がよくなった患者さんから「ありがとう」と感謝してもらえることです。厳しさはお医者さんと同じように国家資格が必要なことです。気をつけていることは、患者さんへの思いやり、笑顔、コミュニケーションを大切にすることです。

omegane (映像制作)



私たちは、会社、商品、地域の紹介、イベントなどの映像を作っています。自由な働き方ができ、いろいろな世界を知ることができます。大変なことは撮影に入っている日に体調が悪くても休めないところです。私たちは映像をただ作るのではなく、「お客様に本当に喜んでもらうためにどうすればよいか」をいつも考えています。

司法書士 白井則邦事務所 しほうしょし



司法書士は身近な法律相談を受け、争いを解決するなど、法律に関する活動をしています。仕事でうれしいことは問題が解決したり、取引が終わって笑顔になってもらえたりすることです。法律や制度、判例は絶えず新しくなるため、ついていくのが大変です。気をつけていることは、しっかりと相手の言葉に耳を傾けることです。

Q 1 町役場（行政）ではどのようなことをしているのかな？



1. 町役場（行政）のはたらき

町の最高責任者（仕事全体に責任を持つ人）は**町長**です。町民から預かった税金など町のお金について責任を持つ人として会計管理者がいます。また町役場には、担当している仕事の種類ごとに「〇〇課」という所があり、それぞれの役割の仕事を行っています。町役場の仕事はたくさんの種類があります。例えば学校の設備を整えたり、ごみを処理したり、お年寄りや身体の不自由な人を支援したり、道路や公園をつくったり、災害に備えて防災倉庫に食料や水をたくわえたりするなど、町民の暮らしに関わるほとんどの対応を行っています。



2. 選挙のしくみ

私たちは、安心して快適に暮らしたいと考えています。私たちの住む町をよりよくするためには、私たちの意見を「まちづくり」に反映させてくれる代表者が必要です。その代表者を決めるのが**選挙**です。「まちづくり」は選挙から始まるのです。

みんなで話し合って決めていくという政治のあり方を**民主主義**といいます。ただ、社会でくらす人の全員が集まって話し合うのは難しいので、実際には、私たちの代表者を選んで、その人たちが**議会（国会）**で話し合うという方法をとっています。選挙はこうした民主主義の政治を支える大切な制度なのです。私たちの生活をよりよくするために、私たち自身が政治に積極的に参加することが大切となります。

【投票までの流れ】

- ①選挙ポスターや選挙公報を見たり、選挙演説を聞いたりして投票する人物を選ぶ。
- ➡②指定された投票所に行く。➡③記さい台で投票用紙に記入して投票箱に投票する。



①選挙ポスター掲示場



②投票所のおようす



③投票用紙

「人民の、人民による、人民のための政治」アメリカ合衆国16代大統領リンカーン

これは言い換えれば、「私たちの、私たちによる、私たちのための政治」となります。これを守り続けていくためにも、みんなが自分の意見をしっかりと持って、政治に参加していこうとする**主権者意識**（しゅけんしゃいしき）を持つことが大切です。このことは、民主主義の原点でもあります。



こども模擬選挙・議会

10月16日、こども模擬議会が開催されました。

出席したのは、町内の小学校で9月に行われたこども模擬選挙で選ばれた児童5人と、酒々井中学校の生徒9人。町内小学校の「酒々井学」の一環として行われたこの取り組みについて特集しました。



模擬議会の会場の様子

地域社会すべてが学びの素材 — 酒々井学とは

酒々井学は、酒々井町の地域素材を使って、教科の学習内容を学ぶための学習プログラムです。今回のこども模擬選挙・議会は、「酒々井のまちづくり」と題した酒々井学として計画されました。

「酒々井のまちづくり」は小学校6年生の社会科と関連付けて、政治の働きが人々の生活に与える影響を学ぶことをねらいとしています。学びの素材には、役場や公共施設、広報紙、児童自身が調査した身近な生活環境が用いられました。

この学びを通して、児童たちがより深く学習内容を理解するとともに、町の暮らしに

関心を持ち、主体的に社会参画する意識を持てるようになることも期待されます。

子どもたちの目線で 地域課題を発見 — こども模擬選挙

夏休み中に酒々井小学校と大室台小学校の児童たちは、各自で町の生活環境を調べ、現状と課題を調査。それに対する改善案を考え、9月にクラス内で発表を行いました。発表では、「公園や通学路の環境整備」といった、児童たちなりの視点で日々感じている課題が多く挙げられました。また、「町の歴史を紹介する設備を作って人口増加を目指す」「災害時のために公衆電話を公園に設置する」など、近年の社会問題に着目した意見も見られました。



くまおかだいと 熊岡大翔くん
選挙で代表に選ばれた

発表が終わると、児童たちは実際の選挙で使われる記載台・投票箱を使用し、模擬的に選挙を体験。こども模擬議会に出席する代表者を選出しました。



本物の投票箱で選挙を体験

実際の議場で 町執行部へ堂々と質問 — こども模擬議会

各小学校から選出された児童5人に酒々井中学校の生徒9人が加わり、実際の議場で一般質問を行いました。子どもたちの質問に答えるのは町長、副町長、教育長をはじめ、町の職員たち。当日は、傍聴人や各種メディアも集まり、緊張感あふれる中、子どもたちは自分たちの意見を堂々と発言していました。

一般質問の後、酒々井小学校の宮原悠さん、林音芭さん、

ふじのあんな 藤野杏菜さんは、「クラスの発表の時に自分よりもいい意見だなと思った人が他にもいたから、選挙でまさか自分が選ばれるとは思わず驚いた。」「自分の質問に答えがもらえてうれしかった。答えを聞いて、また新しい疑問も浮かんだ。」などと感想を話してくれました。

子どもたちにとって、行政のしくみを学ぶと同時に、地域社会について考える良い学びの場となったようでした。



再質問をする林音芭さん



こども議員の皆さん

Q1 酒々井町の「住みよさ」はどうか？

住民にとっては、街の魅力がアップすることはうれしいことです。住む人や訪れる人がふえることにもつながります。これからも酒々井町を住みやすく魅力いっぱいの街にしていくためには、住民のみなさんのアイデアと実行力が必要です。

まずは、①何がどこにあったらいいか、②何をどう直したらよくなるか、③いつどんなこと（イベントなど）をすればいいのか、この3点を考えてみましょう。

いろいろな会社が「〇〇まちランキング」というデータを出しています。順位をつけるには何を基にしているかという基準が必要になります。ある会社では、「安心度」（病院・ふくし施設・犯ざい・交通事故の件数など）、「利便度」（大型店・飲食店の数など）、「快適度」（水道料金・公園の面積・気候など）、「富裕度」（土地の価格など）の4つの視点から計算しています。「住みよさ」を調べるには、町民憲章や町の歴史などいろいろなデータを参考にして、他の市町村と酒々井町とを比べてみることも大切です。（➡P57）「酒々井町ガイド」

酒々井町の近くの市町の中で、この基準で上位に入ったことのある所もあります。どんな所が「住みよさ」なのか選ばれた理由を考えてみましょう。

Q2 SDGs（エスディー・ジーズ）って知ってますか？

これは、2015年に国連で決められた**持続可能な開発目標**（国際社会共通の目標）です。持続可能な社会をつくるために、**貧困**をなくす、**飢餓**をゼロに、**環境**問題、**人権**問題など2030年までに実現を目指す17の目標を定めています。

この目標は、世界中の人が意識し、だれひとり取り残さずに、すべての人を救い、みんなで乗り越えようという大きな目標です。

日本政府や多くの企業も、SDGsのために行動しようと動き始めています。

酒々井町でも「あらゆる差別撤廃・人権尊重都市宣言」をして目標の実現に努力しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsの17の目標

2. こども模擬議会 もぎぎかい 質問内容一覧 しつもんないよういちらん

こども模擬議会は平成18（2006）年から中学生が参加して始まり、小学生は、平成28（2016）年から参加するようになりました。今までに14回（小学生の参加は4回）行い、たくさんの質問が、こども模擬議会でも出されてきました。みんなで町をよくするという気持ち、とても大切なことです。

平成18（2006）年度 【第1回】

学校名	年 組	質 問 内 容
酒々井中	1年1組	酒々井町伊篠新田から富里に向かう道路問題について
〃	1年2組	学校給食について
〃	1年3組	町民の安全について
〃	1年4組	町役場の開庁時間について
〃	2年1組	タバコの吸いがらについて
〃	2年2組	交通問題について
〃	2年3組	酒々井中学校の毛虫とスズメバチについて
〃	2年4組	放置自転車について
〃	2年5組	通学路について
〃	3年1組	町の活性化について
〃	3年2組	生徒用の机、椅子について
〃	3年3組	税収について
〃	3年4組	学校施設について

平成19（2007）年度 【第2回】

学校名	年 組	質 問 内 容
酒々井中	3年1組	駅のバリアフリーについて
〃	3年1組	地震対策について
〃	3年2組	町民体育館建設について
〃	3年2組	椅子と机について
〃	3年2組	図書館の開館時間延長について
〃	3年3組	道の駅について
〃	3年3組	コスモ石油前の信号機の待ち時間について
〃	3年3組	休日における町バスの利用について
〃	3年3組	公園のゴミ箱、時計の設置について
〃	3年4組	通学路の安全、街灯設置について
〃	3年4組	迷惑駐車について
〃	3年5組	国道296号線沿いの除草について
〃	3年5組	お店の周りの座り込みについて

平成20（2008）年度 【第3回】

学校名	年 組	質 問 内 容
酒々井中	3年1組	国道沿いの信号の待ち時間の短縮と渡る時間の確保について
〃	3年1組	「健康ひろば」の利用について
〃	3年1組	東酒々井と中央台をつなぐJR成田線を横断する道路を作る計画について
〃	3年2組	図書館の延長時間の利用について、土日の利用について
〃	3年2組	体育館の床、壁の補修について
〃	3年2組	スポーツ施設の建設について
〃	3年3組	町バス利用の拡大について
〃	3年3組	駅の駐輪場の増設について
〃	3年4組	地震対策について
〃	3年4組	駒形神社の電灯について
〃	3年4組	商店街の活性化について

平成21（2008）年度 【第4回】

学校名	年 組	質 問 内 容
酒々井中	3年1組	乾電池、蛍光灯の回収について
〃	3年1組	各公園の時計設置について
〃	3年2組	コスモ石油前の信号渋滞について
〃	3年2組	中央台の公共用地の存続について
〃	3年2組	魅力的なまちづくりについて
〃	3年3組	酒々井中の屋外トイレの水洗化について
〃	3年3組	町としてのゴミの不法投棄対策、エコ対策について
〃	3年3組	町循環バスの運行について
〃	3年4組	下台十字路から旧51号線のトラック進入禁止について
〃	3年4組	酒々井中のグラウンド拡張について
〃	3年5組	新型インフルエンザ対策について
〃	3年5組	町の景観保全と除草について
〃	3年5組	インターチェンジ、南部開発の状況と今後について



こども模擬議会

平成22（2010）年度 【第5回】

学校名	年 組	質 問 内 容
酒々井中	3年1組	J R酒々井駅西口エレベーター設置について
〃	3年1組	中学校へのクーラー設置について
〃	3年1組	社会保障と税負担について
〃	3年1組	待機児童と保育サービスについて
〃	3年2組	酒々井町の観光に関する経営企画について
〃	3年2組	酒々井町の公共下水道の普及率について
〃	3年2組	町道の改善について
〃	3年3組	子宮頸がんワクチンの公費助成について
〃	3年3組	高齢者の把握について
〃	3年3組	酒々井中の屋外トイレについて
〃	3年3組	酒々井町の人権尊重都市宣言について
〃	3年3組	ボランティア活動の推進について
〃	3年3組	今後のスポーツ活動について
〃	3年4組	酒々井のアウトレット計画について
〃	3年4組	中学校の屋上ソーラーパネルの設置について

平成23（2011）年度 【第6回】

学校名	年 組	質 問 内 容
酒々井中	3年1組	中央公民館の利用時間について
〃	3年1組	インターネットでの本の貸し出しについて
〃	3年1組	酒々井インターチェンジ早期完成について
〃	3年1組	酒々井町での地域の商業について
〃	3年2組	子ども手当の支給について
〃	3年2組	DV相談について
〃	3年2組	アウトレットについて
〃	3年2組	「広報ニューすい」の受け取り方法について
〃	3年3組	中学校のプール設置について
〃	3年3組	学校給食の安全性について
〃	3年3組	防災無線の音の反響について
〃	3年4組	大規模断水発生時の設備について
〃	3年4組	町民全員参加のスポーツ大会開催について
〃	3年4組	酒々井中の冷水機について
〃	3年4組	雨水をためる施設について

平成24（2012）年度 【第7回】

学校名	年 組	質 問 内 容
酒々井中	3年1組	押しボタン式信号の設置について
〃	3年1組	コスモ石油前の横断橋設置について
〃	3年2組	酒々井中学校の野球場とサッカー場について
〃	3年2組	道路の街灯設置について
〃	3年3組	酒々井ブランドについて
〃	3年3組	ソーラーパネルの設置について
〃	3年4組	マスコットキャラクター作成について
〃	3年4組	ふじき野1丁目の調整池の管理機能について
〃	3年5組	平成24年度一般会計の歳入と歳出、次年度の予算について
〃	3年5組	小中学校に設置されたエアコンの使い方について
〃	3年1組	がん検診受診率を高める工夫について
〃	3年2組	地域ブランドについて
〃	3年4組	酒々井アウトレット周辺について
〃	3年1組	中学生の海外派遣について
〃	3年1組	小学校と中学校のカーテンと布団について

平成25（2013）年度 【第8回】

学校名	年 組	質 問 内 容
酒々井中	3年1組	中学校体育館の天井雨漏り修繕について
〃	3年1組	ソーラーパネルの設置について
〃	3年2組	酒々井町の農業について
〃	3年2組	酒々井コミュニティプラザについて
〃	3年3組	グラウンドの設備拡張について
〃	3年3組	酒々井町の観光資源の活用について
〃	3年4組	プレミアム・アウトレット開業、酒々井ICの整備による経済効果について
〃	3年4組	東酒々井入口の信号について
〃	3年2組	給食の食器について
〃	3年3組	町体育館の再建について
〃	3年3組	危険な道の整備について
〃	3年4組	カーブミラーの設置について
〃	3年2組	J R南酒々井駅周辺の開発について
〃	3年4組	酒々井町の再開発について
〃	3年4組	少子化問題について

平成26（2014）年度 【第9回】

学校名	年 組	質 問 内 容
酒々井中	3年1組	尾上浄水場の災害への対策について
〃	3年1組	児童虐待防止の推進について
〃	3年2組	修学館のエアコン設置について
〃	3年2組	防災無線について
〃	3年2組	歩道の改善について
〃	3年2組	酒々井中学校の体育館の雨漏りについて
〃	3年3組	JR酒々井駅のバス乗り場について
〃	3年3組	町の活性化に対する対応について
〃	3年3組	食育週間について
〃	3年4組	町の遊具について
〃	3年4組	酒々井中学校の部活環境について
〃	3年5組	酒々井ナビゲーションシステム「歩き・み・ふれる 歴史の道in酒々井」について
〃	3年5組	これからの農業就業者の対策について
〃	3年5組	土砂災害の対策・復旧について
〃	3年5組	健康面や介護などの面でだれでも気軽に相談できる相談機関について

平成27（2015）年度 【第10回】

学校名	年 組	質 問 内 容
酒々井中	3年1組	税務住民課の「納めやすい環境づくりの推進」について
〃	3年1組	酒々井中学校の体育館のエアコン設置について
〃	3年1組	特別棟のトイレ設置について
〃	3年2組	印旛沼の環境について
〃	3年2組	駅周辺の活性化について
〃	3年2組	防災訓練の実施について
〃	3年3組	国際交流事業について
〃	3年3組	高齢者福祉の推進について
〃	3年3組	町内の道路や歩道の安全について
〃	3年4組	酒々井町の定住について
〃	3年4組	酒々井中学校の設備について
〃	3年4組	テニスの町民大会について
〃	3年5組	小・中・高生の事故・事件について
〃	3年5組	シルバー人材センターについて
〃	3年5組	コミュニティプラザの活用について

平成28（2016）年度 【第11回】 ※小学校（第1回）

学校名	年 組	質 問 内 容
酒々井小	6年1組	観光客をさらに誘致するための方策について
〃	6年2組	若者を中心にさらに町を盛り上げる方策について
〃	6年3組	町の税収を増やす方策について
大室台小	6年1組	災害時の対策や災害時の備えについて
〃	6年2組	公園の雨宿りスペースの設置について
〃	6年3組	酒々井町の道路（白線修正）について
酒々井中	3年1組	成年後見制度について
〃	3年2組	酒々井町の文化財について
〃	3年3組	東酒々井入口の信号について
〃	3年4組	町バスの活用について
〃	3年4組	酒々井中学校体育館および修学館の設備について
〃	3年4組	歩道の雑草について
〃	3年5組	公園の遊具について
〃	3年6組	「酒々井コミュニケーションセンター」での物品販売について
〃	3年6組	循環バスの運営について

平成29（2017）年度 【第12回】 ※小学校（第2回）

学校名	年 組	質 問 内 容
酒々井小	6年1組	酒々井リサイクルセンターの熱利用について
〃	6年2組	レンタルサイクルについて
〃	6年3組	児童センターについて
大室台小	6年1組	宮本歯科のむかいの公園について
〃	6年2組	ゴミをなくすための方法について
〃	6年3組	公園のトイレや時計の設置について
酒々井中	3年4組	防災無線について
〃	3年3組	地球温暖化対策について
〃	3年3組	通学路の整備について
〃	3年2組	プリミエール酒々井の設備について
〃	3年1組	少子高齢化対策について
〃	3年5組	巡回バスについて
〃	3年2組	総合公園の管理・整備について
〃	3年1組	酒々井町の各公園遊具について
〃	3年4組	町バスの稼動状況について



平成30（2018）年度 【第13回】 ※小学校（第3回）

学校名	年 組	質 問 内 容
酒々井小	6年1組	子どもが元気に遊べる空間づくりについて
〃	6年2組	町立プールの新設について
〃	6年3組	薬の福太郎前の踏切の渋滞緩和について
大室台小	6年1組	町立プールの改修または新設について（2組・3組）
〃	6年2組	街灯の設置状況について
〃	6年3組	JR酒々井駅周辺商店街の活性化及びショッピングモールの設置について
酒々井中	3年1組	酒々井町の人口について
〃	3年1組	酒々井町の観光について
〃	3年2組	酒々井中あいさつロードについて
〃	3年3組	高齢者の方への取り組みについて
〃	3年3組	交通の流動化について
〃	3年4組	道路の整備について
〃	3年5組	酒々井町の保健について
〃	3年5組	スポーツ施設について
〃	3年6組	酒々井町の環境について

令和元（2019）年度 【第14回】 ※小学校（第4回）

学校名	年 組	質 問 内 容
酒々井小	6年1組	映画館や子どもが室内で過ごせる場について
〃	6年2組	温水プールの設置計画について
〃	6年3組	外国の方への酒々井町のPR方法について
大室台小	6年1組	バスやタクシーの運行本数について
〃	6年2組	「カンカンムロ横穴群」の整備について
酒々井中	3年1組	防災無線について
〃	3年2組	町の安全対策について
〃	3年2組	公共施設の環境整備について
〃	3年2組	私たちと外国の方々との酒々井町での生活について
〃	3年3組	JR酒々井駅内の環境について
〃	3年3組	違法駐車について
〃	3年4組	アウトレット周辺地域の活用について
〃	3年4組	酒々井町の自家発電の普及率について
〃	3年5組	通学路の安全対策について

3. 「酒々井町への願い」 児童作成シート

酒々井町への願い	小学校	名前
酒々井町は町民にとって暮らしやすい町だろうか？【 <u>暮らしやすい</u> ・暮らしにくい】		
理由	基本的には暮らしやすいがそうでない部分もある。	
町のくらしの改善点	町の中で町民にとって困ることやあった方がよい物などを調べよう！	
・場所によって外灯が少ない。 ・総合病院が無い。 ・観光資源が活用されていない。		
★場所がわかるように地図をかこう！	★状況がわかるようにイラストや写真を入れよう！	
		
町への質問・提案	鬼気力ある町づくり	
★文章や図を使ってわかりやすくまとめよう！		
<p>酒の井や本佐倉城跡を観光地として楽しんでもらえるようにならないか</p> <p><提案></p> <p>酒の井... 実際には酒をくんで食べる井戸を作る。 (千葉氏祭りやふるさと祭りなどのイベントの時に)</p> <p>本佐倉城跡... ①城を再建する(ミニチュアでもよい) ②酒々井馬尺や町役場の外観を城にする。</p>		

酒々井町への願い	小学校	名前
----------	-----	----

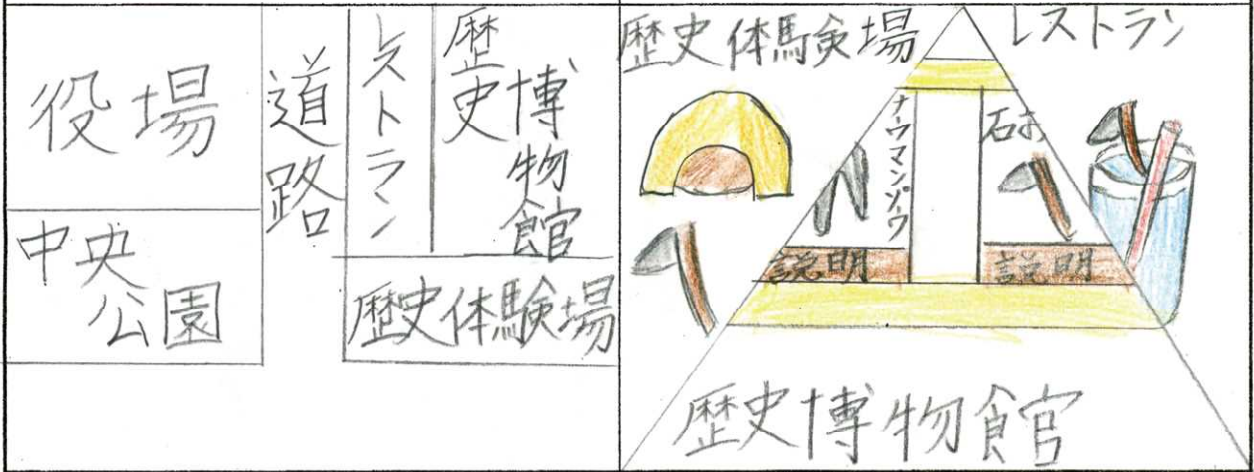
酒々井町は町民にとってくらしやすい町だろうか？【くらしやすい】・くらしにくい】

理由 町民にとって必要な店があていい町

町のくらしの改善点	町の中で町民にとって困ることやあった方がよい物などを調べよう！
-----------	---------------------------------

酒々井町に歴史博物館とレストランと歴史体験場が一つもないから一つでも作るとよいと考えました。

★場所がわかるように地図をかこう！	★状況がわかるようにイラストや写真を入れよう！
-------------------	-------------------------



町への質問・提案	歴史博物館を作ってほしいです。
----------	-----------------

★文章や図を使ってわかりやすくまとめよう！

具体的には酒々井町には歴史博物館とレストランと歴史体験場がなく歴史が好きな人は遠い所まで歴史博物館に行くのが大変だから酒々井町の中央公園の近くに歴史博物館とレストランと歴史体験場を作ってほしいです。

酒々井町への願い	小学校	名前
----------	-----	----

酒々井町は町民にとってくらしやすい町だろうか？【くらしやすい ⊙ くらしにくい】

理由 酒々井町は交通手段なども整っていて、そこは良いけど、大きな施設があれば、もっとくらしやすいと思う。

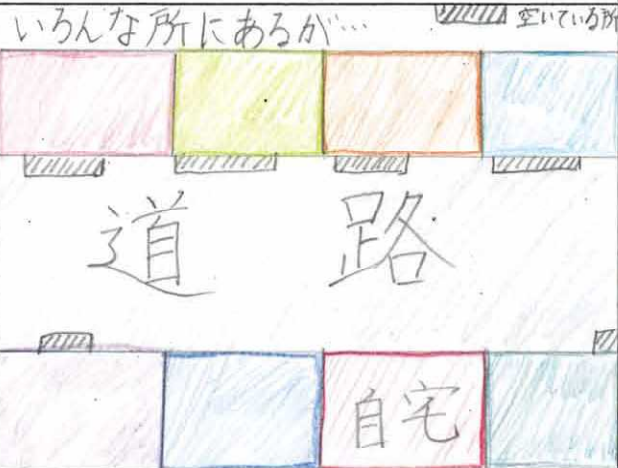
町のくらしの改善点

町の中で町民にとって困ることやあった方がよい物などを調べよう！

町によくあるU字溝が空いているのが多くて、空いているとゴミもたまるし、自転車や車が落ちるかもしれないし大雨でU字溝に落ちて死亡したケースがあるからこわい。

★場所がわかるように地図をかこう！

★状況がわかるようにイラストや写真を入れよう！



自宅の前...
空いているため落ちる可能性が高い
(こんな風に)



しかもゴミがたまりやすい!

町への質問・提案

平らな軽いやつでU字溝をふたしてほしい。

★文章や図を使ってわかりやすくまとめよう！



こんな風に空いている所を



軽くて

平らな少しすきまのある板でふたをする。

すると...?

自転車も落ちないため、事故が走りやすい!



ふたをする...



酒々井町への願い	小学校	名前
----------	-----	----

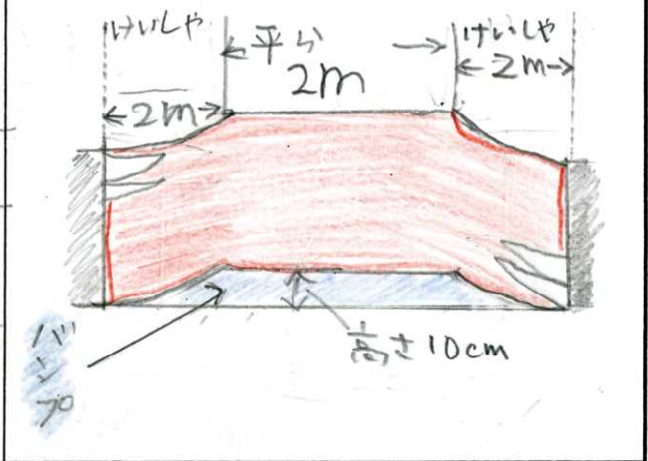
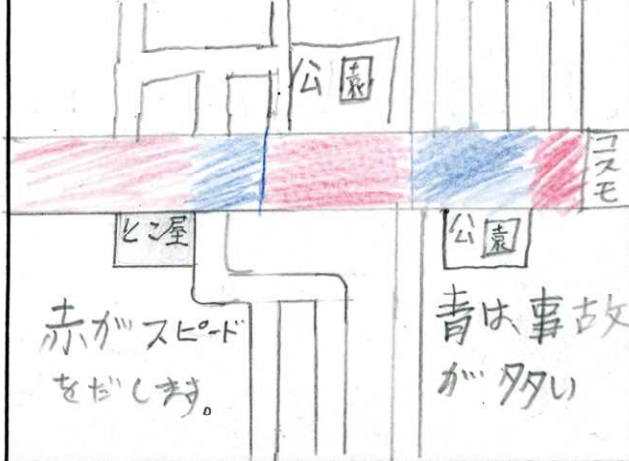
酒々井町は町民にとってくらしやすい町だろうか？【くらしやすい・くらしにくい】

理由 他の町や市と比べて治安がよいから

町のくらしの改善点	町の中で町民にとって困ることやあった方がよい物などを調べよう！
-----------	---------------------------------

コスモ石油から、ふじき里予アビ"方面を走る車がいつも、スピードを出しすぎているから、BUMP(道路にスピードクッション)を作ってほしいです

★場所がわかるように地図をかこう！	★状況がわかるようにイラストや写真を入れよう！
-------------------	-------------------------



町への質問・提案	事故をなくすために、BUMPが必要ですよ。
----------	-----------------------

★文章や図を使ってわかりやすくまとめよう！赤や青の戸名が「けが人」が「出ます」。その、原因は、車がスピードを出しすぎているから、だから、やってほしいです。特に、通りか友ける車が、スピードを出します。

これは、道足各です ↓	道足各 ↓
青はバンプをつけてほしいです。	赤は、すこし、注意した方が、いいところですよ。

酒々井町への願い	小学校	名前
----------	-----	----

酒々井町は町民にとってくらしやすい町だろうか？【くらしやすい・くらしにくい】

理由

たくさんの方施設があるから

町のくらしの改善点

町の中で町民にとって困ることやあった方がよい物などを調べよう！

総合公園のミニアスレチックの上にある木材でできていた遊具の
木がくさって使いにくいから、小さい遊具を増やす。また、草が
たくさんはえていて、遊びにくいから草をかる。

★場所がわかるように地図をかこう！

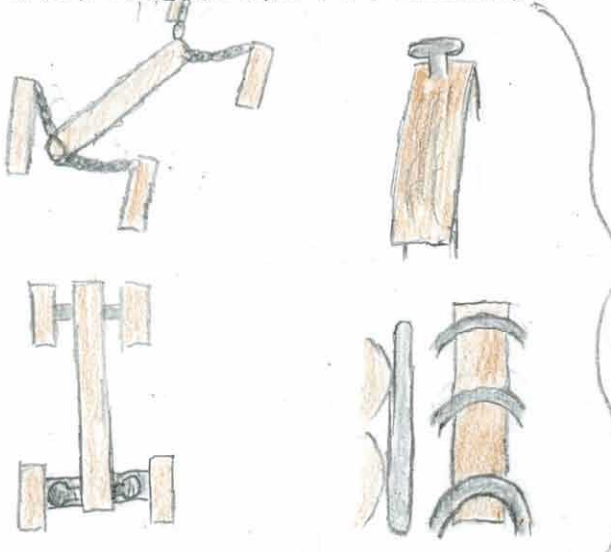
★状況がわかるようにイラストや写真を入れよう！



町への質問・提案

木材でできている遊具に小さい遊具を増やす事は

★文章や図を使ってわかりやすくまとめよう！



・使える物はそのままに、草をかる
して、小さい遊具を置けば、
たくさんの方が遊べる。

遊具の周りは、雑草がたくさんはえているから、かたほうがいい。(遊びやすくなる)

酒々井町への願い	小学校	名前
----------	-----	----

酒々井町は町民にとってくらしやすい町だろうか？【くらしやすい・くらしにくい】

理由 役場の方達が良^い酒々井町にしようとしていく姿いや、酒々井をキレイにする活動をしているのでとてもくらしやすい。

町のくらしの改善点	町の中で町民にとって困ることやあった方がよい物などを調べよう！
-----------	---------------------------------

・ちびっこ天国のかわりにゴミ処理場の
もやす熱で温水プールなどにしてほしい。

★場所がわかるように地図をかこう！	★状況がわかるようにイラストや写真を入れよう！
-------------------	-------------------------

リサイクル文化センター
（ゴミ処理場）
ハウス
が
ア
ン

ゴミ処理場
地図

ファミレス

←今は閉まっている。

ゴミ処理場の
近くなどに
プールがほしい

町への質問・提案	室内で子供から大人まで遊べるプール
----------	-------------------

★文章や図を使ってわかりやすくまとめよう！



中にちょっとした
遊べる スライダーや小さい子が
ミニプールなども造った
らいい
と思う。

流れる
ミニ
プール

スライダー

波の
プール

4. 酒々井をささえる人々

タイトル	「伝統」を舞い奏でる	団体名	かみいわはしししまいほぞんかい 上岩橋獅子舞保存会
1. どんな団体なの？【活動開始年】（昭和10年～）		【活動人数】（25人）	
<p>上岩橋の獅子舞の歴史は古く、江戸時代中期ごろから伝えられ、4月第1日曜日に上岩橋区長宅をはじめに、駒形神社、菊賀神社、大鷲神社の順で奉納演舞（ほうのうえんぶ）されています。町内に残っている三つの獅子舞の中で一つだけ、複数の神社で演舞される獅子舞です。獅子舞は、一人立ちの三匹獅子舞の形で演舞され、大獅子の「とおし」「白羽」「弓くぐり」、小獅子の「れいとろ」「一匹舞」の演目で構成され、五穀豊穡（ごこくほうじょう）をいのって、笛・たいこのお囃子に合わせて行われます。</p> <p>大正時代には一時中断された時期もありましたが、昭和10年に復活し、区の行事として、保存会会員により伝承されています。</p>			
<p>2. 活動を始めた理由は？</p> <p>村の鎮守の神社で数百年前の江戸時代中期から演舞されてきた歴史があり、上岩橋区内の若者により演舞が継承されてきた伝統を守り、後世に伝えるために行われています。</p>			
<p>3. どんな活動をしているの？</p> <p>4月の獅子舞当日に合わせて、例年3月上旬から、週に2回ほど、地元の集会所に会員の仕事が終わった夜間に集合して練習しています。4月以外にも町などが行うイベントで獅子舞を披露することもあります。</p> <p>また、酒々井小学校4年生に獅子舞の活動を説明する機会をいただき、数年前から学校で獅子舞の歴史や保存会の活動などの話をしています。</p> <p>【苦 勞】</p> <p>会員である獅子舞をする人の高れい化が進んでいることが課題ですが、最近、数名の中学生が関心をもって保存会に加入してくれたのでとてもうれしく思います。</p> <p>（中学生のはなし）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の町にこんなかっこいい伝統芸能があるならやらないと損をすると思いました。おどった後の地域の方々のせい大なはく手は、とてもパワーをもらえます。これからは伝統を引きつぐためにどんどん仲間をさそいたいと思います。（中3男子 青柳さん） ・友達がいて自分もおはやしをふきたいと思いました。フルートが得意なのでふけると思いました。はば広い年れいの方がたくさんいて楽しいです。伝統を引きついで、一人でふく「とおし」をいつかふきたいと思います。（中3女子 和泉さん） <p>【喜 び】</p> <p>足腰のきん肉痛をがまんしながら練習した獅子舞を見てもらい、はく手をいただいた時は、その苦勞がむくわれます。</p>			
<p>4. 子ども達へのメッセージ</p> <p>今後も地域の若者の加入を進めていきたいと思っています。獅子舞に限らず、町の歴史や伝統に興味を持ってもらいたいと思います。</p>			
<p style="text-align: right;">書いた人の名前（福田 良二）</p>			

タイトル	酒々井の自然に学ぼう	団体名	酒々井町郷土研究会（野草部）
1. どんな団体なの？【活動開始年】（昭和52年～）		【活動人数】（5人）	
<p>酒々井の自然と歴史を調べている人たちが、昭和52年に「酒々井町郷土研究会」というグループを作りました。その中に、野草部という酒々井の野草観察を通して自然を守ろうという5人のメンバーが選ばれました。</p>			
<p>2. 活動を始めた理由は？</p> <p>郷土を愛する人たちが集まり、郷土文化の向上と文化財愛護を願ってつくられました。</p>			
<p>3. どんな活動をしているの？</p> <p>現在、郷土研究会は会員130名くらいです。運営委員20名の内、野草部員は5名です。野草部のおもな活動は、春、秋の野草観察会と旧正月を祝う「七草がゆを食べる会」を行っています。</p> <p>「七草がゆを食べる会」は公民館講堂を会場に100人近いお客様をお迎えしての会食です。</p> <p>これは運営委員全員で行う行事で、酒々井町の米と町内にはえている春の七草「芹（セリ）・薺（ナズナ）・御形（ハハコグサ）・繁縷（ハコベ）・仏の座（コオニタビラコ）・菘（カブ）・蘿蔔（ダイコン）」をつみ取り、準備、おかゆだき、おもてなし等を行います。</p> <p>その他、青樹堂（せいじゅどう）の観察会を年4回、家庭教育学級（ローズマリー学級）を年1回、平成27年度より大室台小学校4年生の校外での学習を引き受けることになり、酒々井学「自然のふしぎを知ろう！」をテーマに、年3～4回の自然観察会を行っています。</p> <p style="text-align: center;">（→P5）</p> <p>【苦 勞】</p> <p>自然が相手なので、観察会ごとに知ってもらいたい植物や昆虫を探すのが大変です。特に草花は花の時期が短いものが多く、昆虫や鳥類は同じ場所にいるとは限らないからです。</p> <p>その年の気候によって植物が変わってしまうことや当日の天気が活動に影響してしまうことも困ります。</p> <p>【喜 び】</p> <p>多くの人たちに、豊かな自然が残る酒々井町について知っていただき、自然を守ろうと思ってもらえることが喜びです。また、自然との出会いを子ども達と一緒に楽しめるのも喜びです。</p>			
<p>4. 子ども達へのメッセージ</p> <p>四季を通して観察した子ども達の体験を一人ひとりがまとめて発表する機会があります。私たちの気づかないすばらしい観察力に大変感動することが何度もあります。酒々井のすばらしい自然をみんなで守っていきましょう。自然も君たちが守ってくれることにきっと感謝しています。人も自然の仲間なのでから・・・。</p>			
<p>書いた人の名前（犬島 正子）</p>			



七草がゆを食べる会

タイトル	守りたい美しい水 育てたい豊かな自然	団体名	酒々井町蛍の里を守ろう会
1. どんな団体なの？【活動開始年】（平成元年～）		【活動人数】（17人）	
<p>蛍（ホタル）の飼育や水路の整備、水辺のそうじや自然観察会の実施など、ホタルの保護事業を通じて様々な活動を行っています。ホタルがすめるきれいな環境を守り・保全する事業、酒々井町のきれいな環境を守ろうと呼びかける活動を行っています。</p>			
<p>2. 活動を始めた理由は？</p> <p>酒々井町の豊かな緑と美しい水、素晴らしい自然環境を守り育て、次の世代に引きつぐことを目標に、ホタルがすめるきれいな環境を守り、保全しようと仲間が集まりました。</p>			
<p>3. どんな活動をしているの？</p> <p>ゲンジボタルの飼育水路、ホタルのよう虫のエサとなるカワナ（巻貝）の管理、ホタルの池周辺の草かりや管理を行っています。</p> <p>一部の人々にホタル観賞会を実施したり、ゲンジボタル、ヘイケボタルの調査をしたり、根古谷環境保全会の活動に協力し、草かりや井戸の管理などを行っています。酒々井小学校4年生の児童に対して、酒々井学「ホタルの里」の授業や、ホタル池の説明の現地学習を行っています。町のふるさとまつりでは、鳥の絵つけ教室や酒々井小の児童が作成したホタルの学習で使用した学習のまとめの展示紹介を行っています。（➡P4）</p> <p>【苦 勞】</p> <p>1頭（とう）のホタルが育つのにカワナを25匹食るといわれているので、カワナが育つようにカワナのエサなどの管理が大切です。自然が相手なので、ゲンジボタルの発生がいつなのか、何頭発生するのかが分かりません。世界的な温暖化が小さなホタルにも影響しているのか、近年、ホタルの発生が早まっています。ゲリラ豪雨のような局地的な雨の影響も心配されます。今後、活動を続けていくためには、新しい会員の入会やホタルの会の考えに賛成して応援してくれる人を確保しなければなりません。</p> <p>【喜 び】</p> <p>ゲンジボタルの発生が確認できると、今年も見ることができたと感動します。また、ゲンジボタルの大きな発光とゆったりと飛ぶ姿は、心がいやされます。見学の方から、「ホタルを見ることができてよかった」といわれることがうれしいです。</p>			
<p>4. 子ども達へのメッセージ</p> <p>ホタルのような小さな虫でも、きれいな環境でなければ育つことができないのです。人間も同じで、きれいな空気、水、緑はとても大切です。一度、環境がこわれると元に戻すには長い年月が必要となります。ぜひ、みなさんも自然環境について考えてください。ゴミが出なくなるには、少なくなるにはどうしたらよいか、地球の生物についても考えてみましょう。小さな生き物にとってすみよい環境であれば、人間にもきっとすみよい環境なのではないでしょうか。</p>			
<p style="text-align: right;">書いた人の名前（岡野 義広）</p>			



ホタルの里の整備



ホタル池の現地学習

タイトル	人も自然の一部なのだから	団体名	酒々井里山フォーラム
1. どんな団体なの？【活動開始年】（平成11年～）		【活動人数】（8人）	
<p>町の目標であった「町を取り巻く緑のリング構^{こうそう}想」に基づいて、自分たちの住んでいる地^{ちいき}域のいろいろな生き物のすむ自然（谷津^{やっつ}と傾斜^{けいしゃ}林）を地元の人々や子どもと共に元のすがたに^{もと}戻して、守っていくことを活動の目的としています。</p>			
<p>2. 活動を始めた理由は？</p> <p>私の家のある地区の台地の下につながる谷津の奥の水田や林が、人の手が入らずに荒れていたの^で、ボランティアの仲間の手を借り、地域の人々や町との連^れけいの輪を広げていく活動を始めました。その後、間もなく千葉県^{ちばけん}の里山^{じょうれい}条^{じょう}例^{れい}ができて、千葉県里山センターを中心に県内に多くの仲間の団体ができ、共に技術^{ぎじゆつ}をみがいたり、話し合^{はな}ったりすることができるようになりました。</p>			
<p>3. どんな活動をしているの？</p> <p>土手や広場、田んぼの畦（あぜ）の草かり、休耕田（きゅうこうでん）を元の姿に戻すこと、林の下草かり、木の間引き、池や小川の手入れ、外来動植物^{くじよ}の駆除、ニホンアカガエルの保^ほ護^ごなどをしています。</p> <p>【苦 労】</p> <p>会員が高^{たか}い者ばかりになってしまい、新しく若い会員が入^いってこなくて、だんだん力^{ちから}仕事^{しごと}ができなくなってきたこと^{です}。また、目標^{もくひょう}であった町や地^ち域との連^れけいが進^{すす}まないことも課題^{かだい}です。</p> <p>【喜 び】</p> <p>サシバやオオタカやノウサギ、サギなどの生き物を見た時^{とき}や、めずらしい貴^き重^{ちゆう}な植物^{しょくぶつ}を発見^{はつじん}した時^{とき}はとてもうれしいです。たくさんのカエルの子どもを見た時^{とき}や、田んぼでカエルの合唱^{がう}を聞いた時^{とき}もうれしい気持ち^{きもち}になります。（➡P71～P82）「酒々井の里山図鑑」</p>			
<p>4. 子ども達へのメッセージ</p> <p>このような里山で遊^{あそ}んだり学^{まな}んだりすることを通して、人間も動物の仲間で、自然の中の一員^{いちいん}であり、いのちのつながりの中で生^いきていることをしっかりと心^{こころ}にきざんでいただきたいと思^{おも}います。そして、私たちの活動^{かどう}をつないでほしいと思^{おも}います。</p> <p>「まちづくり」では、自然（エコロジー）とのつながりを考えた、町民^{まちみん}のみんなが集^あまれる場所^{ばしょ}づくりを心^{こころ}がけてもらいたいと思^{おも}います。</p>			
<p style="text-align: right;">書いた人の名前（遠藤 博之）</p>			



西井戸の池^{せいび}の整備^{せいび}作業

タイトル	町の安心・安全を守る	団体名	しずい防犯パトロール「ブルドックス」
------	------------	-----	--------------------

1. どんな団体なの？【活動開始年】（平成15年～）

【活動人数】（63人）

自分たちの住んでいる町は自分たちで守ろうと、しずい防犯パトロール「ブルドックス」が、平成15年に設立され、今年で18年目を迎えています。

できた時の町は犯罪が多く起きていましたが、会員の活動のおかげで、最近は犯罪件数も当初の3分の1ぐらいいまでへってきています。私たちには警察のような法りつによる取りしまりなどはできませんが、ふだんのパトロール活動などのねばり強い活動が犯罪を防ぐことに必ずつながっていくものと信じています。町や警察、自治会とも協力し、「犯罪ゼロ」を目指して活動していきたいと思っています。



防犯ボックス前でのブルドックス会員

2. 活動を始めた理由は？

歴史ある静かな町に団地が開発され、人口がふえるにつれて変わりつつある町の危機を実感した仲間が集まり、「安全で安心なまち」を目標にボランティア団体をつくりました。団体名は「安全・安心のまちづくり」の番犬となるべく「ブルドックス」という名前にしました。

3. どんな活動をしているの？

ボランティア活動を通じて犯罪や災害を防いで、「安全で安心な住みよいまちづくり」に役立つことが目的です。地区の防犯パトロールのほかに、防犯意識を高めるための啓発・広報活動、小学生のスクールガード、青少年の健全な育成に向けた活動等を目指しています。

【苦 労】

会員の高れい化が進んできて、活動できる会員の人数が、だんだんとへってきているのが心配なところです。

【喜 び】

毎年の県の警察による犯罪件数の集計で、前年度よりも件数がへることに活動の成果を感じています。またパトロール中に通りがかりの人からの「ご苦労様」の一声がうれしく感じます。

朝の元気なあいさつ、帰りの笑顔のあいさつで子ども達から元気をもらっています。日々成長していく子ども達の将来が楽しみです。（20年間活動している市川文雄さん）



防犯パトロール



小学生のスクールガード

4. 子ども達へのメッセージ

小学生の登下校時のスクールガードでのふれあい等を通じて、町の安全安心を守る生きがいや気持ち伝われればと思っています。みなさんも「じい・ばあ」と一緒に活動してみませんか。

書いた人の名前（木内 義治）

タイトル	酒の井の碑広場の管理・酒の井伝説の理解と伝承	団体名	酒の井の碑広場管理委員会
1. どんな団体なの？【活動開始年】（平成19年6月～）		【活動人数】（26人）	
<p>町名の由来となった酒の井伝説はみなさんも知っていると思います。昔、酒の井戸があった広場が荒れ果てていました。「これではいかん！この広場をきれいにしよう」という思いを同じくした人々が立ち上がりました。草かり、かれ木、ごみ等の処分、土を入れ木を植え、花だんを作り、酒の井戸を整備してテーブルといすを作り、門を建て、「あずまや」を造るなど、みんな住民のボランティア活動で酒の井の碑広場環境整備事業を行いました。</p> <p>団体名：酒の井の碑広場管理委員会（設立日：平成19年4月1日）</p> <p>①環境美化活動 ②酒の井の碑広場（酒の井伝説）伝承活動 ③酒の井の碑広場維持管理活動</p>			
<p>2. 活動を始めた理由は？</p> <p>酒の井の碑広場の左側道路ぞいに大きな木が5～6本並んでいます。その大木の枝が道路をこえて他の家の屋根の上までのびていました。枯れ枝が落ちて下の道路が暗く危険でした。この道路は小学生の通学路になっているので、その大木の枝を切ることになりました。予算（お金）、安全の確保、業者を選んで打合せ、警察への届け出など準備を整えて実行しました。</p> <p>その後、枝打ちの成功から会員及び近くの住民から酒の井の碑広場も続けて整備することになり、予算について役場や関係者と相談しました。最終的に宝くじ助成事業（緑化推進コミュニティ事業補助金交付申請）に応募して、140万円集めることができました。この資金をもとに、酒の井の碑広場環境整備事業が始まったのです。</p>			
<p>3. どんな活動をしているの？</p> <p>①酒の井の碑広場の木や草、ごみなどをきれいに運び出しているところです。</p> <p>②酒の井の碑広場がある程度片づきました。黄色の柵は、正門を作るところです。</p> <p>③農家の屋敷の入口にあった松を寄付して頂き、トラックで運び、門かぶり松として移植しました。この道中、道はばがせまく、松がトラックからはみ出ているので、安全に運ぶために大変苦労しました。</p> <p>④松が門の上にかぶるような位置にわくを作っておいて位置を合わせました。</p> <p>⑤「酒の井」の井戸わくを造りました。この広場には、水源がなく非常に困っていたら、親切な人が現れて、井戸を造るお金を寄付してくれました。今までは、近所の水道から頂いていましたが、今後は水道を通して、必要な所から水を取り出せるようになります。</p>			
<p>4. 子ども達へのメッセージ</p> <p>酒々井小の酒の井の花だん教室は今年で12年間続いていて、のべ240名の参加者になっています。「酒の井伝説」をよく理解して、親孝行で親切な子ども達がたくさんいて、困っている人がいたら助け合う町になってほしいと思います。</p>			
<p style="text-align: right;">書いた人の名前（中台 隆）</p>			

タイトル	酒々井の歴史を知りふるさと意識を育もう	団体名	酒々井ふるさとガイドの会
1. どんな団体なの？【活動開始年】（平成20年～）		【活動人数】（20人）	
<p>酒々井町は、観光資源となるすばらしい自然、有史以来の歴史遺産、文化財などがあります。これらの地域資源を活用したガイド活動を通して、町民の方々には郷土愛を育み、町外の方には酒々井町のすばらしさをPRし、町のことをたくさんの方に知ってもらえるような活動を行っています。また、ガイド活動には、「ようこそ酒々井へ」という「おもてなしの心」をもって行うと共に、会員同士の親ばくを通してガイド向けの知識がふえるようにしています。</p>			
<p>2. 活動を始めた理由は？</p> <p>平成19年9月に中央公民館が開講した「ガイド養成講座」を1年間受講し、酒々井町の原始・古代から中世、近世までの歴史遺産について学習し、知識を習得すると共に、酒々井町のすばらしさを実感しました。この講座を受講したメンバーと講師の方によって、平成20年10月「酒々井ふるさとガイドの会」を12名で設立しました。さらに平成29年には、外部講師を招き、「第2回ふるさとガイド養成講座」を自主的に開講しました。</p>			
<p>3. どんな活動をしているの？</p> <p>ガイドの活動範囲は、酒々井町全ての歴史遺産を対象に活動を行っています。また要望があれば周辺地域の歴史遺産についてもガイドを行っています。年間の活動内容は次の通りです。</p> <p>(1) 定例見学会 7、8、12、1月の4か月をのぞき、毎月第4土曜日に本佐倉城跡中心にした定例見学会を実施。</p> <p>(2) イベント 5月：梅シロップ作り。10月：水戸黄門の散歩道。 3月：佐倉市と合同で本佐倉城跡見学会を開催。</p> <p>(3) 随時見学会の実施 定例見学会以外にも雨天をのぞいて、人数に関係なく、いつでも無料でガイド活動を行っています。</p> <p>*平成29年に本佐倉城跡が日本城郭協会から「続日本100名城」に認定されました。認定前の年間ガイド数は、約40団体700～1000人程度でしたが、認定後は、3倍ぐらいにまでふえて、全国から見学者が訪れるようになり、酒々井町と本佐倉城の名前が広く伝わりました。</p> <p>【苦 労】 本佐倉城跡には簡易トイレがなく、見学する方のための整備が遅れています。</p> <p>【喜 び】 ガイド活動に会員が熱心に取り組み、社会貢献のすばらしさを実感していること。また、女性ガイドが3人にふえ、ガイド体制が充実したこと。他のガイド団体がガイド研修のために酒々井町を訪れるようになったことが喜びです。</p>			
<p>4. 子ども達へのメッセージ</p> <p>みなさんは気づいていないかもしれませんが、酒々井町は交通が便利で、自然が豊かで、歴史のあるすばらしい町です。令和元年に約3万4千年前の旧石器時代の「墨古沢遺跡」が国史跡に指定されました。私たちふるさとガイドの会では、みなさんにいろいろな機会を通じて酒々井のすばらしさを伝え、酒々井町がみなさんにとってすばらしいふるさととなり、町外の方々に誇れる歴史の町となるように、町民のみなさんと共に努力したいと考えています。</p>			
<p>書いた人の名前（山本 孝一）</p>			



本佐倉城跡でのガイド活動



タイトル	村の開発と共にいきる	団体名	泉の里整備計画友の会（泉会）
1. どんな団体なの？【活動開始年】（平成23年～）		【活動人数】（29人）	
<p>神社周辺の荒れた森林を、町の補助金をいただいて、町民のボランティア活動できれいな公園にして、アジサイをたくさん植えてみんなの楽しめるアジサイ公園にしたいと思っています。</p>			
<p>2. 活動を始めた理由は？</p> <p>私たちの飯積村の約半分がなくなってしまう町づくりの開発が、平成20年くらいから本格的に始まりました。</p> <p>農業のあとつぎがない事もあって、農家は町の発展のためにも大きなかくごで、土地を手ばなすことにしました。開発によって、町の近くにみんなの働く場所（高速道路のインターチェンジやアウトレット・温泉施設・ガソリンスタンド・自動車販売店等）ができてとても便利になりました。</p> <p>町が発展すると、多くの人々が町の開発地域に来られるようになるので、気持ちよくみなさんに訪ねていただくきれいな地域づくりのために活動を始めました。</p>			
<p>3. どんな活動をしているの？</p> <p>泉会のメンバーがみんなで作った泉公園の草かりや樹木・池・アジサイ等の管理を、毎月第1日曜日に活動しています。</p> <p>その他にボランティア活動として、南部開発地域の公園や、花だん（町有地約2万5千平方メートル）の管理を、町から依頼されて、一年を通して草かりやゴミ拾いの作業をしています。</p> <p>町との協働作業で、歩道にある花だんに菜の花を育てて、きれいな町づくりを進めています。</p> <p>【苦 労】</p> <p>作業する人が高れい者になっていくことや、人口が少なくなるので若い人のお手伝いする人が簡単に育たない事に不安を感じる時があります。高れい者でも楽に草かりができるように、大型の草かり機の購入も考えています。今は男性が多いのですが、女性のお手伝いもお願いすることができるような計画も進んでいます。</p> <p>【喜 び】</p> <p>楽しいことは、地域の人々と食事をしたり、お酒を飲んだりして、これからのきれいな町づくりについて話し合っている時です。</p> <p>作業をしている時に、「きれいになりましたね。がんばってください！」と、声をかけていただくとうれしい気持ちになります。また、池をきれいにした時に、渡り鳥のカモが泳いでいるのを見た時は、本当にうれしかったです。</p>			
<p>4. 子ども達へのメッセージ</p> <p>みなさんも大人達の活動を気にして見るようにしてください。全国どこの地域にも町づくりの活動はありますから、みなさんも大きくなったら地域の活動への参加をお願いします。</p>			
<p style="text-align: right;">書いた人の名前（戸田 孝之）</p>			



山林の整備作業



歩道の草かり作業

タイトル	大ちゃんビオトープを守り育てる	団体名	ちいき きょうどう 地域学校 協働本部
1. どんな団体なの？【活動開始年】（平成24年～）		【活動人数】（1人）	
<p>大室台小には平成15年から校庭西側の端にビオトープが設置されていて、大室台地区の生き物が水辺に集まり子ども達の観察の場所になっていました。当時、学校職員がビオトープの担当者となって、ビオトープ周辺を管理する作業を行っていましたが、担当者がいなくなると荒れ放題になってしまいました。平成24年12月に学校支援地域本部が大室台小に設置されたのをきっかけに、地域で活動している「里山フォーラム」と連携して、ビオトープの環境を守って管理していく組織が正式にできました。</p> <p>保護者・地域に呼びかけて、定期的な管理作業でビオトープを守っています。これまでに自然観察の専門員を招いて、生き物調査をしたり、植物の名前を調べたりして、貴重な生き物が生息していることが分かりました。池の水は地下水をくみ上げて、いつも流して、水がかれることを防いでいます。</p> <p>このビオトープには、メダカ・モツゴ・ドジョウ・ゲンゴロウ・タイコウチ・ミズカマキリ・タガメ・アメンボ・いろいろなトンボとそのヤゴなどたくさんの生き物が生息しています。</p>		 <p>整備作業（平成25年冬）</p>	
<p>2. 活動を始めた理由は？</p> <p>貴重な種の生き物が生息していることがわかり、昔からの印旛沼の固有植物等を守り育てて、種の保存をはかりたいと考え、管理作業をしてきました。</p>			
<p>3. どんな活動をしているの？</p> <p>毎月第3土曜日の9時から2時間程度、保護者・地域の協力者と管理作業をしています。おもな活動は、池の中のアオコをとったり、予想以上にふえる水草を取ったり、池の周りの草取りなどです。</p> <p>3つの池に子ども達の投票で名前をつけました。その結果、大ちゃん池、いのちの池、ふれあいの池となりました。大ちゃん池には印旛沼固有種の水草を育てる計画です。ふれあいの池は子ども達のはだしで中に入って観察ができるように、水位を浅くしてあります。</p> <p>【苦 労】 月1回の活動なので天候に左右されたり、人が集まらないことがあったりすることが大変です。</p> <p>【喜 び】 大室台小の子ども達がこのビオトープの生き物とふれあいながら、楽しく生き物の観察ができることを願っています。</p>		 <p>管理作業（平成26年春）</p>	
<p>4. 子ども達へのメッセージ</p> <p>酒々井町の大室台小学校の校庭に自然豊かなビオトープがあることを知って、生き物が様々な形でかわりを持って生きていることを知ってもらいたいと思います。そして、私たちと一緒にこの自然を守り育ててほしいと思います。</p>			
<p>書いた人の名前（山岸 文雄）</p>			

タイトル	花は心を豊かにする	団体名	桜寿会（おうじゅかい）
1. どんな団体なの？【活動開始年】（平成28年～）		【活動人数】（25人）	
<p>酒々井町の花いっぱい運動に、中央台1丁目の桜寿会として参加しています。私たちの住む中央台1丁目は町の農業用水路でもある中川沿いの桜並木のある、住みよいところです。草花を年2回植えかえて、冬から春にかけてパンジー、ビオラなどと桜、夏には日日草、マリーゴールドなどの花を楽しんでいます。</p>			
<p>2. 活動を始めた理由は？</p> <p>2016年に花いっぱい運動を町より呼びかけられ、町の老人会である桜寿会もこれにこたえて参加することになりました。中央台1丁目の桜並木の約300メートルの道路の側溝とガードレールの間30センチメートルの所に花だんをつくり、草花を植えて町の人々と楽しんでいます。</p> <p>春には桜とのコラボレーションで通行するみなさんも楽しみにしています。冬から春のパンジー・ビオラなどが最せい期の時は、道路の道ばたがはなやいでみられます。夏には日日草、マリーゴールド、ペゴニアが色あざやかに咲きほこります。</p> <p>花いっぱい運動に参加して4年になりますが、最初は60メートル位であったのが今では約300メートルになっております。道ばたのため草取りから始めなければなりませんでした。多くの会員の共同作業で植えつけることができました。</p>			
<p>3. どんな活動をしているの？</p> <p>花の植えこみ、花だんづくり、草取り、肥料いれ、植えかえなど作業があり、花の苗が1400個にもなるので、多くの会員の協力で楽しく作業しています。</p> <p>【苦 労】</p> <p>最初の時は草の根が深く大変でしたが、今では楽にできるようになりました。しかし土手からの雑草が強く、草取りを続けていく必要があります。土の状態、病気などの心配をしながらの日々です。</p> <p>【喜 び】</p> <p>道を散歩するたびに人々から、「きれいですね」と声をかけられると、元気が出ます。子ども達からも楽しみにしていると話されると、やってきてよかったと思います。</p> <p>会員は高れい者ばかりなので、水分補給などに気をつけながらがんばっています。参加する会員をふやして、もっと町の人々の交流ができるといいなと思っています。</p>			
<p>4. 子ども達へのメッセージ</p> <p>草花や花木などは、私たちに豊かな心とうるおいを与えてくれます。花を育てること、美しい花や木を想像して、地道な努力をしています。美しい花を咲かせたときの感激は人一倍です。また、仲間と一緒に努力して作業を完了した時など、喜びもひとしおです。</p> <p>町の人々と一緒になってきれいな花がいっぱいの町づくりをしようではありませんか。</p>			
<p style="text-align: right;">書いた人の名前（河島 芳男）</p>			



花の植え込み作業

5. 酒々井の先輩 ^{せんぱい} 「広島東洋カープ 坂倉 将吾（さかくら しょうご）選手」

1 プロフィール



酒々井町出身

身長176cm 体重82kg 右投げ左打（捕手・外野手）

1998年 5月29日誕生

2001年 昭苑幼稚園入園

2004年 酒々井町立酒々井小学校入学（酒々井ビッグアローズ^{しよぞく}所属）

2010年 酒々井町立酒々井中学校入学（八千代中央シニア所属）

2013年 日本大学第三高等学校入学

2016年 広島東洋カープ入団 ドラフト4位 背番号61

2 酒々井の先輩にインタビュー

(1) 酒々井町の思い出・好きな場所（風景）はどこですか？

- ・小学校時代は学校の2階の多目的室と通学路の坂から見える筑波山^{つくばさん}の風景です。
- ・中学校時代は教室から見える桜の木です。

(2) どんな小学生でしたか？

・好きだった遊び

中央台公園で遊ぶ野球やバスケットボールです。

・好きだった勉強

6年生の時の授業です。



少年野球チーム

(3) どんな中学生でしたか？

- ・うるさくてやんちゃでした。

(4) 小学生の頃の夢・何になりたかったですか？

- ・小学校1年生からプロ野球選手になりたくて、少年野球チームに入りました。



(5) 夢の実現に向けてがんばったことは何ですか？

- ・家でのバットの素振り^{すぶり}練習を毎日1時間はやりました。

(6) 現在の夢は何ですか？

- ・プロ野球の中で、打率やヒット数などの記録を残すことです。

(7) 現在の夢に向かってがんばっていることは何ですか？

- ・野球のシーズンに入る前は、毎日、トレーニングジム^{きんりょく}で筋力トレーニングを中心に練習を行っています。



「こども模擬議会」への参加

(8) プロ野球選手として大変なこと・苦しいことは何ですか？

- ・1年間という長い期間、試合に出るために遠い野球場まで移動する生活が体調管理の面で大変です。

(9) プロ野球選手としての喜び・嬉しかったことは何ですか？

- ・一軍での初出場（2017年9月23日巨人戦）
初安打・初打点（2017年9月30日DeNA戦）
初本塁打（2019年8月1日巨人戦）の時です。

(10) 好きな言葉はどんな言葉ですか？

「鍛錬は千日の行 勝負は一瞬の行」

勝負は一瞬でついでにありますが、その一瞬は、簡単にたどり着けるものではありません。その裏には数え切れない基本練習があり、何年も練習を積み重ね、やっと勝負の一瞬にたどり着くことができるのです。徳島県立池田高校野球部の蔦監督の言葉としても有名です。

(11) 好きな歴史上の人物はだれですか？

- ・千葉県の佐原（香取市）の伊能忠敬（いのうただたか）です。50才を過ぎてから日本全国を歩いて測量して、正確な日本地図を作ったところがすごいと思いました。

(12) 尊敬する人物はだれですか？

- ・自分の所属する広島東洋カープの先輩の選手全員です。

(13) 今の楽しみ・趣味・好きな食べ物は何かですか？

- ・楽しみはゴルフをすることです。始めて3年目ですが、スコアはだいたい90から100です。
- ・好きな食べ物は焼き肉です。中でもタン、ハラミ、ミノは必ず食べます。

(14) 酒々井町の後輩たちへのメッセージをお願いします。

- ・小学校や中学校でいろいろなことを学んで、いろいろなものに感謝して立派な大人になってください。

(15) 酒々井町はこれからどんな町になってほしいですか？

- ・小さな町ですが、子どもから大人まで、元気で活気のある町になってほしいと思います。



試合（キャッチャー）



試合（バッター）



練習の様子

6. 酒々井のチャレンジャー 「SASUKE 出場 日置 将士（ひおき まさし）さん」

1 プロフィール



酒々井町 電気店店長

身長 170.2 cm 体重 62 kg 「SASUKE」 出場の選手

SASUKEの通算成績	出場回数	12回
	2nd (セカンドステージ) 進出	8回
	3rd (サードステージ) 進出	6回
	Final (ファイナルステージ)	挑戦中

SASUKE (サスケ) とは

TBSテレビの番組で、正式な名称は「究極のサバイバルアタックSASUKE」です。1997年秋に初めて放送され、2019年12月31日の大みそかの時点で37回行われています。

どんなルールなの？

毎回100人が出場し、1st、2nd、3rd、Finalの4つのステージに分かれたさまざまな障害物を、アクションゲームのように筋力を使ってクリアしていく巨大フィールドアスレチックです。

途中で池に落ちるか、池の水面についたり、コースアウトやタイムアップになるとその場でアウトとなります。今までにFinalまで行って、完全にクリアしたのは5回で、わずかに4人の選手しかいません。

2 酒々井のチャレンジャーにインタビュー

(1) 酒々井町の好きな場所（風景）・よい所はどこですか？

- ・国道296号線を酒々井中方面に向かっていく時に見えるふじき野方面の町の景色です。
- ・小さな町ですが生活に必要な施設などが近くに集まっていて歩いていけるのがよい所です。

(2) どんな小学生でしたか？

・好きだった遊び

負けず嫌いの性格なのでスポーツ全般です。

・好きだった勉強

道徳です。答えがなくて、人によって感じ方や考え方が違って、意見を出し合うところが面白いです。

(3) どんな中学生でしたか？

- ・バドミントンで県大会優勝を目指して、部活動で練習に励んでいました。

(4) 小学生の頃の夢・何になりたかったですか？

- ・小学生ではソフトボールをやっていたので、プロ野球選手を目指していました。

(5) 夢の実現に向けてがんばったことは何ですか？

- ・夢に対してはまじめに考えていませんでした。テレビに同じ子どもが出ているのを観て、自分も出たいと思い、小学生のタレント募集を知って、自分で応募して目指しましたが、日曜日に収録することが多くなってやめました。



小学校時代

(6) 現在の夢は何ですか？

- ・自分の息子と一緒にSASUKEに出ることです。そのために、庭で子どもと一緒に練習をしています。

(7) 現在の夢に向かってがんばっていることは何ですか？

- ・今、息子が6才なので、出場できる中学生まで、はずかしくない結果を出し続けられるように、トレーニングをしています。

(8) SASUKE出場のために大変なこと・苦しいことは何ですか？

- ・お台場のSASUKEのテーマパークで試しにやってみたら、できなかったので、自分のやる気に火が着きました。それから週に2回は通って、少しずつできるようになり、やっと出場に向けて挑戦するようになりましたが、出場できるかわからない中でのトレーニングはモチベーションを持ち続けるのが大変です。

(9) SASUKE出場の喜び・嬉しかったことは何ですか？

- ・努力が報われた時と周りのみんなからの応援のありがたさを感じました。

(10) 好きな言葉はどんな言葉ですか？

「何ごともしめ！」

- ・つまらないランニングも楽しいことがあるはず。前回よりもタイムアップさせるなど楽しいことを1つ以上見つければ前向きになれます。

(11) 好きな歴史上の人物はだれですか？

- ・佐倉惣五郎（木内惣五郎）です。自分の村を守るために将軍に訴えた人ですが、自分の周りの人間が幸せになれるならば、自ら犠牲になってもいいという考え方が偉いと思います。

(12) 尊敬する人物はだれですか？

- ・ぼくの周りには尊敬できる人があふれています。

(13) 今の楽しみ・趣味・好きな食べ物は何ですか？

- ・趣味はSASUKEです。楽しみは3人目の子どもが生まれて、その子をあやすことです。今では上の子ども達が、面倒を見てくれることも楽しみです。好きな食べ物は妻の手料理です。

(14) 酒々井町の子どもたちへのメッセージをお願いします。

- ・何か目標を決めてがんばる時、自分一人では難しいことでも、周りの応援と仲間の力で先に進めます。そのためには自分勝手ではいけません。自分の周りの人を大切にして、応援してくれる仲間や共に成長できる仲間がいるそんな人間になってください。

(15) 酒々井町はこれからどんな町になってほしいですか？

- ・小さいながらもまとまっている町なので、町民の声が届きやすい窓口と、行政が何をしているのかわかりやすく伝える、時代に合わせた発信方法があるともっとよくなると思います。



自宅での練習



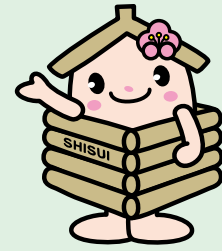
SASUKE に挑戦！

わたしの好きな酒々井

あなたにとっての「心の原風景」は見つかりましたか？
いつでもいいから、見つかったら今のあなたの心をそっと書き残しておきませんか…。

私の好きな景色	どこ？	
★スケッチや写真をはろう！	どうして好きなの？	
私の好きな道	どこ？	
★スケッチや写真をはろう！	どうして好きなの？	
私の好きな音・におい	どこ？	
★スケッチや写真をはろう！	どうして好きなの？	
私の好きな場所（お店など）	どこ？	
★スケッチや写真をはろう！	どうして好きなの？	

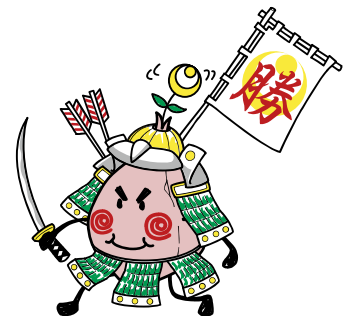
資料編



本佐倉城 (イメージ画)

内 容

- 学校郷土資料館 (展示資料の見方・考え方)
- 酒々井学インフォメーション (図書資料・リーフレット・情報スポット)
- 酒々井町ガイド
- 酒々井の民話
- 酒々井の古写真「かつての印旛沼、そして酒々井町」
- 酒々井の里山図鑑
- 酒々井の歴史 (郷土史年表)



● 学校郷土資料館（がっこうきょうどしりょうかん）



【酒々井小学校】



【大室台小学校】

てんじしりょう
展示資料の見方・考え方

郷土資料館はモノ（道具）を通して学ぶところです。酒々井町の人々がくらしの中で使っていた道具から昔のくらしのようすを想像してみましょ！

【展示資料の見方】

- (1) モノをよく見よう！
- (2) モノの名前を知ろう！
- (3) いつごろ（今から何年前）のモノなのか知ろう！
- (4) 解説を読んで、どんなモノか知ろう！
- (5) モノをじっくりと観察しよう！
- (6) 他の関係していそうなモノをさがそう！



【展示資料の考え方】

- (1) これは何だろう？（5W1H）
 What（何という名前なのか？）
 Who（だれが・どんな人が使っていたのか？）
 When（いつごろのモノなのか？）
 Where（どこで使っていたのか？）
 Why（なぜ作ったのか・なぜ使ったのか？）
 How（どのように使ったのか？）
- (2) 【目的】 何の道具なのか形から想像してみよう！
- (3) 【方法】 どのように使ったのか考えてみよう！
- (4) 今のくらしではどんな道具と同じなのか考えよう！
- (5) 道具からくらしのようすを想像してみよう！
 （どのような材料で作り、何を生産していたのか？）
- (6) 未来の道具やくらしのようすを予想してみよう！



No	資料名	種別	解説
1	大かご (木の葉かご)	農具	堆肥を作るための落ち葉を大型のかごに入れて運ぶ。
2	くるり棒 (ぼう)		棒を回し、たたいて稲・麦などを脱穀するために使う。
3	座繰機 (ざぐりき)		繭 (まゆ) から糸を取って、糸わくにまく。
4	背負い梯子 (はしご)		荷物や籠を背おう時に体に食いこまずに運べる。
5	田下駄 (たげた)		水田の作業時に足がもぐらないようにはく。
6	万石 (まんごく) 通し		土うすですった玄米と粉殻を選別する。
7	ぼっち笠 (がさ)		日ざしをよけるため、頭にかぶる稲わらであんだ笠
8	うけ	漁具	竹で作った籠の中にえさを入れ、水の中に沈めて使う。
9	うなぎかき		木の棒の先に鉄製の長いかぎをつけ、ウナギをとる。
10	おひつ	民具	羽釜で炊いたご飯を移し、食卓に運ぶために使う。
11	徳利 (とっくり)		首が細く下の方がふくらんだ容器で、日本酒を入れる。
12	盃 (さかずき)		日本酒を飲むための器で、祝い事などに使われた。
13	七輪 (しちりん)		炭の燃焼で料理をするための持ち運びが可能なコンロ
14	氷冷蔵庫		上の段に大きな氷を入れて、氷の冷たさで中を冷やす。
15	火のし		中に火のついた炭を入れ、底の部分をあてるアイロン
16	炭火アイロン		ふたを開け、中に火のついた炭を入れて使うアイロン
17	せいろ		もち米やまんじゅうなどを湯気で蒸す。
18	石油ランプ		行灯よりも明るい外国から伝わった石油が燃料の灯り
19	膳 (ぜん)・椀 (わん)		一人ひとりの食器や食べ物をのせる足つきの台
20	そろばん		五つの玉を操作して、たし算などの計算をする道具
21	ダイヤル式電話		指止めの所までダイヤルを回してかける電話
22	だるまストーブ		主に石炭などを燃料にする大型のストーブ
23	鉄瓶 (てつびん)		いろりの上や火ばちにのせたりして、湯をわかす。
24	陶器製湯たんぽ		中に熱い湯を入れ、寝る時に布団の中に入れて暖める。
25	蠅取り器		中に蠅が好きな飯つづ等をおいて、おびきよせてとる。
26	はさみ		まん中をまげて左右の刃を向かい合わせたはさみ
27	柱時計 (ふりこ時計)		柱や壁にかけておく時計で、ふりこが動いて時を刻む。
28	番傘 (ばんがさ)・唐傘 (からかさ)		竹で作った骨に和紙をはり、油をぬって防水加工した。
29	飯ごう		持ち運びができ、お米を4合まで炊くことができる。
30	火消し壺 (つぼ)		燃え終わった薪を入れ蓋をし、酸素をなくして消火する。
31	ふり鐘		授業の始まりや終わりの合図として、校内で鳴らした。
32	ゲートル		兵隊などが足のけがや疲れを防ぐために足にまいた。
33	防空頭巾		戦争中の空襲時に、頭を守るためにかぶった。
34	和釘 (わくぎ)		四角い断面で木と木を合わせるために打ちつけた。
35	升 (ます)		米や麦や豆などの穀物や粉や液体などの量をはかる。
36	練炭火鉢 (れんたんひばち)		石炭の粉などを練って固めた練炭を燃やして暖める。
37	謄写版 (とうしゃばん)		お知らせやテストなどの学校の印刷物を手ずりにする。
38	竿 (さお) ばかり		てこの原理を使って、物と錘をつり合わせてはかる。
39	東京オリンピック(聖火リレーのトーチ)		1964年の東京オリンピックの聖火リレーで使用したトーチ
40	化石 (貝)	遺物	酒々井小の近くで見つかった約20万年前の貝化石

No	資料名	種別	解説
1	大かご (木の葉かご)	農具	堆肥を作るための落ち葉を大型のかごに入れて運ぶ。
2	飼い葉切り機		わらを短く切って、牛や馬の餌を作る。
3	草取り機		田植え後にのびてきた雑草を土にうめ込む。
4	まぶし折機		蚕が繭を作る巣である「まぶし」を稲わらで作る。
5	繭毛羽取機		蚕が繭を作る時の「はき糸」を取りのぞく。
6	座繰機 (ざぐりき)		繭から糸を取って、糸わくにまく。
7	背負い梯子 (はしご)		荷物やかごを背負う時に体に食い込まずに運べる。
8	千歯 (せんば) こき		稲たばを鉄の歯にさして、手前に引いて籾を取る。
9	鋤簾 (じょれん)		土砂をすくって、麦の芽の上に土をかける。
10	田下駄 (たげた)		水田の作業時に足がもぐらないようにはく。
11	種まき機		箱の中に種を入れて回転させ、穴から種を落とす。
12	唐箕 (とうみ)		中の板を回して風を起し、粒やごみを選別する。
13	縄ない機		稲わらをより合わせて縄を作る。
14	ふるい		藤でできていて、目的別にあみの目の大きさを変えた。
15	箕 (み)		籾殻やわらく等と玄米とをより分ける。
16	綿の種取り機 (綿繰り機)		ハンドルの回転で棒の間に綿の実を入れ、種と綿を分ける。
17	足踏みミシン	民具	足で踏み板を踏み、ベルトの回転運動で布をぬう。
18	行火 (あんか)		火入れの中に起こした炭をおき、おもに足を暖める。
19	臼 (うす)・杵 (きね)		臼の中にむしたもち米を入れ、杵でついてもちにする。
20	墨壺 (すみつぼ)		木材を切る時に、炭をつけた糸をはじいて直線を引く。
21	こて		火ばち等に金属の部分を入れ、直接熱して使うアイロン
22	火のし		中に火のついた炭を入れ、底の部分をあてるアイロン
23	炭火アイロン		ふたを開け、中に火のついた炭を入れて使うアイロン
24	石油ランプ		行灯よりも明るい外国から伝わった石油が燃料の灯り
25	洗濯板 (せんたくいた)		刻み目のついた板の上で、上下に動かし汚れを落とす。
26	膳 (ぜん)・椀 (わん)		一人ひとりの食器や食べ物をのせる足つきの台
27	茶釜 (ちゃがま)		お茶を飲む時に、お湯をわかすための専用の釜
28	つるべ (井戸)		縄の先についた「つるべ」に水をくみ、引っ張り上げる。
29	羽釜 (はがま)		かまどにつぼ (羽の部分) をかけてご飯をたく。
30	徳利 (とっくり)		首が細く下の方がふくらんだ容器で、日本酒を入れる。
31	火消し壺 (つぼ)		燃え終わった薪を入れ蓋をし、酸素をなくして消火する。
32	火鉢 (ひばち)		室内において、中で炭を燃やして暖める。
33	桐 (きり) だんす		湿気や火に強い桐で作った箱で、衣類等を入れる。
34	水がめ		台所に置いて、炊事に使う水をためておく大形のかめ
35	横づち		わらを打ってやわらかくしてから縄をなう。
36	ハイトリック		ぜんまいで動く四角い部分に止まった蠲をとる。
37	わらじ・わらじ編み機		稲わらを足の形にして、網ひもを足にまきつけてはく。
38	竿 (さお) ばかり		てこの原理を使って、物と錘をつり合わせてはかる。
39	手回しサイレン		空襲時に穴のある円板を高速で回し、警報音を出す。
40	化石 (クジラの骨)	遺物	東酒々井団地造成地で見つかった約15万年前の化石

● 酒々井学インフォメーション 「プリミエール酒々井」 の図書資料

No	書名	著者名	出版社名	出版年
1	町村の半世紀 創立50周年記念	千葉県町村会事務局	千葉県町村会	1971
2	千葉県印旛郡誌 (前・後篇)		崙書房出版	1971
3	酒々井町墨区郷土史	藤崎 徹	酒々井町地方史研究会	1972
4	千葉県文化財総覧 (改訂増補)	千葉県教育委員会	千葉県教育委員会	1973
5	酒々井町の歴史	酒々井町史編さん委員会	酒々井町役場	1979
6	千葉県の文化財 [1980]	千葉県教育委員会	千葉県教育委員会	1980
7	成田みち今昔	森田 保	崙書房出版	1983
8	源平合戦と千葉氏 源頼朝と千葉介常胤 (ふるさと文庫)	千野原 靖方	崙書房出版	1983
9	南北朝の動乱と千葉氏 (ふるさと文庫)	千野原 靖方	崙書房出版	1984
10	酒々井町の石仏と文化財	相京晴次	酒々井町	1987
11	印旛沼周遊記 沼周辺の自然と歴史	小川 元	崙書房出版	1988
12	酒々井「昔ばなし」(酒々井町制施行100周年記念)	100周年記念事業実行委員会	酒々井町	1989
13	酒々井 酒々井町制施行100周年記念	写真のヒガサ	記念事業実行委員会	1989
14	成田街道 酒々井の歴史散歩	相京 晴次	国書刊行会	1990
15	酒々井町上岩橋の歴史 史料	相京 晴次	国書刊行会	1991
16	千葉氏 (鎌倉・南北朝編)	千野原 靖方	崙書房出版	1995
17	「成田参詣記」を歩く	川田 寿	崙書房出版	2001
18	房総の歴史街道絵本	さいとう はるき	崙書房出版	2002
19	千葉氏探訪 房総を駆け抜けた武士たち	鈴木 佐	千葉日報社出版局	2002
20	図説 房総の城郭	千葉城郭研究会	国書刊行会	2002
21	ふさの国の文化財総覧第2巻 (海匝・香取・印旛)	県教育庁教育振興部文化財課	県教育庁教育振興部文化財課	2004
22	酒々井の絵馬	酒々井町教育委員会	酒々井町郷土研究会	2005
23	酒々井町の道しるべ	酒々井町郷土研究会	酒々井町郷土研究会	2005
24	千葉県の歴史散歩	高等学校教育研究会歴史部会	山川出版社	2006
25	私が見てきたわが町酒々井	藤崎達男	チェリーネット	2006
26	成田街道いま昔 「成田参詣記」の世界をたずねる	湯浅 吉美	新勝寺成田山仏教研究所	2008
27	【絵引】民具の事典	岩井 宏寛	河出書房新社	2008
28	酒々井町大字小字名表	相京晴次	酒々井町立図書館	2009
29	戦国房総人名辞典	千野原 靖方	崙書房出版	2009
30	本佐倉城跡周辺の史跡と自然 創立35周年記念事業	酒々井町郷土研究会	酒々井町郷土研究会	2011
31	千葉県の指定文化財第17集 (平成21・22年度)	県教育庁教育振興部文化財課	千葉県教育委員会	2011
32	酒々井の湧き水散歩 ふるさとの自然を歩こう	酒々井町湧き水保存会	酒々井町湧き水保存会	2011
33	酒々井の昔話	酒々井町教育委員会	酒々井町教育委員会	2012
34	酒々井町の地誌 酒々井学編 (酒々井町ふるさと歴史読本1)	酒々井町教育委員会	酒々井町教育委員会	2012
35	酒々井町の年中行事 復刻版 (酒々井町ふるさと歴史読本2)	酒々井町教育委員会	酒々井町教育委員会	2012
36	酒々井風土記 酒々井宿物語 (酒々井町ふるさと歴史読本3)	酒々井町教育委員会	酒々井町教育委員会	2012
37	図説 印旛の歴史	大塚初重・三浦茂一	郷土出版社	2013
38	千葉一族盛衰記 佐倉にもあった戦国武将の居城 (佐倉市歴史探訪シリーズ)	けやき家こもん		2014
39	京成電鉄 街と駅の1世紀(懐かしい沿線写真で訪ねる)	生田 誠	アルファベータブックス	2015
40	千葉県の街道と道標 1 佐倉街道	明石 護	明石 護	2016
41	千葉常胤公ものがたり	千葉市総合政策局政策調整課	千葉市総合政策局政策調整課	2016
42	わたしたちの酒々井町 (小学校社会科副読本)	酒々井町教育委員会	酒々井町教育委員会	2017

酒々井町のリーフレット1

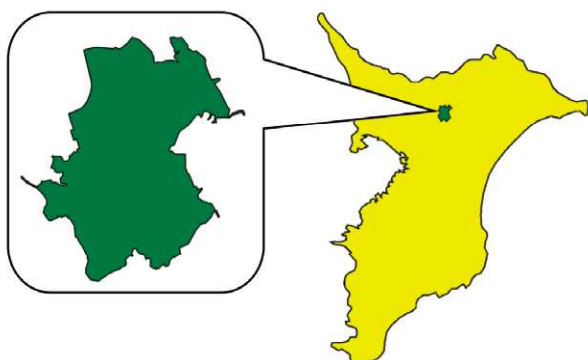
<p>広報ニューしすい・議会だより</p>	<p>ちょうせいびらん べんりちょう 町政便覧・くらしの便利帳</p>	<p>酒々井ガイドマップ</p>
		
<p>広報ニューしすい 町のくらしに関する情報 議会だより 町議会に関する情報</p>	<p>2019年発行 町の概要や歴史、観光、 行政と町民のくらしに関する 情報がわかる。</p>	<p>2016年改訂 町の代表的な歴史と文化と 自然に関する解説と見学ポイン トが地図でわかる。</p>
<p>ことりっぷ</p>	<p>酒々井暮らし</p>	<p>千葉県酒々井町じゃらん</p>
		
<p>2017年発行 町の紹介・行事・観光・グ ルメ・歴史さんぽ・おみやげ 等の情報がわかる。</p>	<p>2017年発行 おでかけ10分の町内の 106の店や施設と観光スポッ トの情報がわかる。</p>	<p>酒々井観光ガイド (グル メ・ショッピング・レジャー・土 産) を電車&散策編とクルマ 編に分けて紹介している。</p>
<p>酒々井町推奨品</p>	<p>酒々井町郷土史年表</p>	<p>すみふるさわいせき 墨古沢遺跡</p>
		
<p>2017年発行 町内で作っている13品の 農産物や代表的な食べ物に関 する情報がわかる。</p>	<p>2019年発行 町・県・日本・世界(ドイツの ドルフェン市)の年表について 比べて見ることができる。</p>	<p>2019年発行 国史跡である約3万4千年 前の旧石器時代の遺跡につい て解説している。</p>

<p style="text-align: center;">にさいわん 尾上木見津遺跡と二彩椀</p> 	<p style="text-align: center;">国指定史跡 本佐倉城跡</p> 	<p style="text-align: center;">国指定史跡 本佐倉城跡</p> 
<p style="text-align: center;">おがみ しょう 奈良時代の尾上で「莊園」と呼ばれる農地の開発をしていた土地から出土した遺物について紹介している。</p>	<p style="text-align: center;">こうぞう 城の構造を鳥かん図の復元画と城郭用語を使って解説し、城の歴史について簡単に解説している。</p>	<p style="text-align: center;">本佐倉城の歴史（年表）・千葉氏の歩み・城のつくり・城下町・城下のなごりについて解説している。</p>
<p style="text-align: center;">関東の名族千葉氏</p> 	<p style="text-align: center;">さんさく 本佐倉城跡散策マップ</p> 	<p style="text-align: center;">眠りから覚めた本佐倉城跡</p> 
<p style="text-align: center;">本佐倉城跡はどんな城？という質問に対して、城の始まりから終わりまでの歴史について解説している。</p>	<p style="text-align: center;">国史跡である本佐倉城跡の守りの構造を知るための20ポイントを散策ルート図と写真で解説している。</p>	<p style="text-align: center;">本佐倉城の城主がいた場所と考えられる城山の様子を画像上で復元し、建物の配置を示している。</p>
<p style="text-align: center;">旧酒々井宿を歩く</p> 	<p style="text-align: center;">酒々井町の民家</p> 	<p style="text-align: center;">酒々井の由来 酒の井</p> 
<p style="text-align: center;">えが 江戸時代の酒々井を描いた絵図や絵と現在の同じ場所の写真とを見比べて、昔の様子をイメージできる。</p>	<p style="text-align: center;">のまかいしょ 現在も残る野馬会所であった島田家の建物について明治時代の「日本博覧図」の絵を通して解説している。</p>	<p style="text-align: center;">「酒の井」伝説の紹介と伝説に関する歴史、「酒の井の碑」の板碑についてくわしく解説している。</p>

酒々井町情報スポット（酒々井町のことがわかる資料等が置いてある施設^{しせつ}）

<p>中央公民館</p>	<p>☎496-5321</p>	<p>プリミエール酒々井</p>	<p>☎496-8681</p>
			
<p>本佐倉城を紹介するコーナーがあります。パネル展示で城の解説をして、展示ケースには発くつ調査で出土した中国などの陶磁器の他に、よろいの材料である小札（こざね）や茶葉をひいて粉にする茶臼（ちやうす）などを展示しています。</p> <p>※本佐倉城跡に観光案内所（建設予定） 〔所在地〕 中央台4-10-1</p>		<p>P53の「酒々井学に使える図書資料」が郷土行政資料コーナーにあり、閲覧することができます。</p> <p>また、P54・55の本佐倉城等の「酒々井町のリーフレット」を用意しています。（町の歴史関係のリーフレットは中央公民館にもあります）</p> <p>〔所在地〕 中央台3-4-1</p>	
<p>酒々井コミュニティプラザ</p>	<p>☎496-4461</p>	<p>まるごとしすい</p>	<p>☎376-6810</p>
			
<p>墨古沢遺跡^{すみふるさわ いせき}を紹介するコーナーがあります。パネル展示で、「旧石器時代とは？」^{かんじょう}「環状ブロック群とは？」などの疑問に答える解説をして、展示ケースには、平成11・12年度に酒々井パーキングエリア（上り線）を広げる工事での発掘調査により出土した石器を展示しています。また遺跡について解説をしたリーフレットもあります。</p> <p>〔所在地〕 墨1549-1</p>		<p>酒々井プレミアム・アウトレットの向かい側に、地域創造発信拠点施設（町の情報発信館）「まるごとしすい」があります。</p> <p>町の特産品開発の推進や観光案内などを行っていて、館内には観光マップやパンフレットなどを用意しています。</p> <p>5学年の酒々井学「酒々井町ベストストーリー」の作品展示もしています。</p> <p>〔所在地〕 飯積2-8-2</p>	

酒々井町ガイド



面積 19.01km²

千葉県北部、北総台地にあり、緑豊かな自然環境と温かい気候にめぐまれています。

歴史的には、約3万4千年前の旧石器時代の遺跡や千年前の土地の景観が残り、中世戦国時代には、下総の国を治めた千葉氏が本佐倉城を造り、約100年間、下総の中心地として栄えました。江戸時代には、佐倉城下、幕府（ばくふ）の野馬会所（のまかいしょ）、成田・芝山などにおまいりする旅人の宿場町としてにぎわいました。

明治22年に町村制が施行され、となりどりの16か町村が合わさって、酒々井町がたん生し、現在にいたっています。

古い歴史と伝統をもつ新しい町「酒々井」は、輝く太陽の下、清らかな水と豊かな緑に包まれたわたくしたちのふるさとです。

わたくしたちは、このすばらしい自然を守りながら、文化の香り高い調和のとれた田園都市をつくりあげるために町民憲章（ちょうみんけんしょう）を定めます。

町民憲章

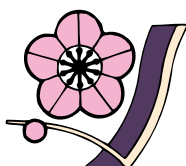
- 一、わたくしたちは、歴史と文化をたいせつにし、自然を愛して美しいまちをつくりましょう。
- 一、わたくしたちは、若い力を育て、働くことを喜び豊かなまちをつくりましょう。
- 一、わたくしたちは、きまりを守り、他人を尊び明るいまちをつくりましょう。
- 一、わたくしたちは、老人をうやまい、子供をいつくしみ温かいまちをつくりましょう。
- 一、わたくしたちは、笑顔で接し、心の通う住みよいまちをつくりましょう。

（令和2年2月22日一部改正）

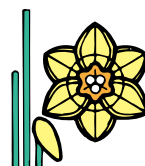
キャラクターマーク



トータル・エンブレム



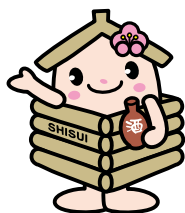
町の木「梅」



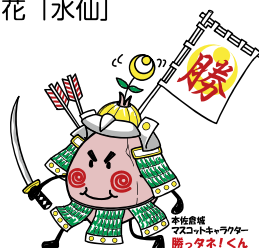
町の花「水仙」



町の鳥「メジロ」

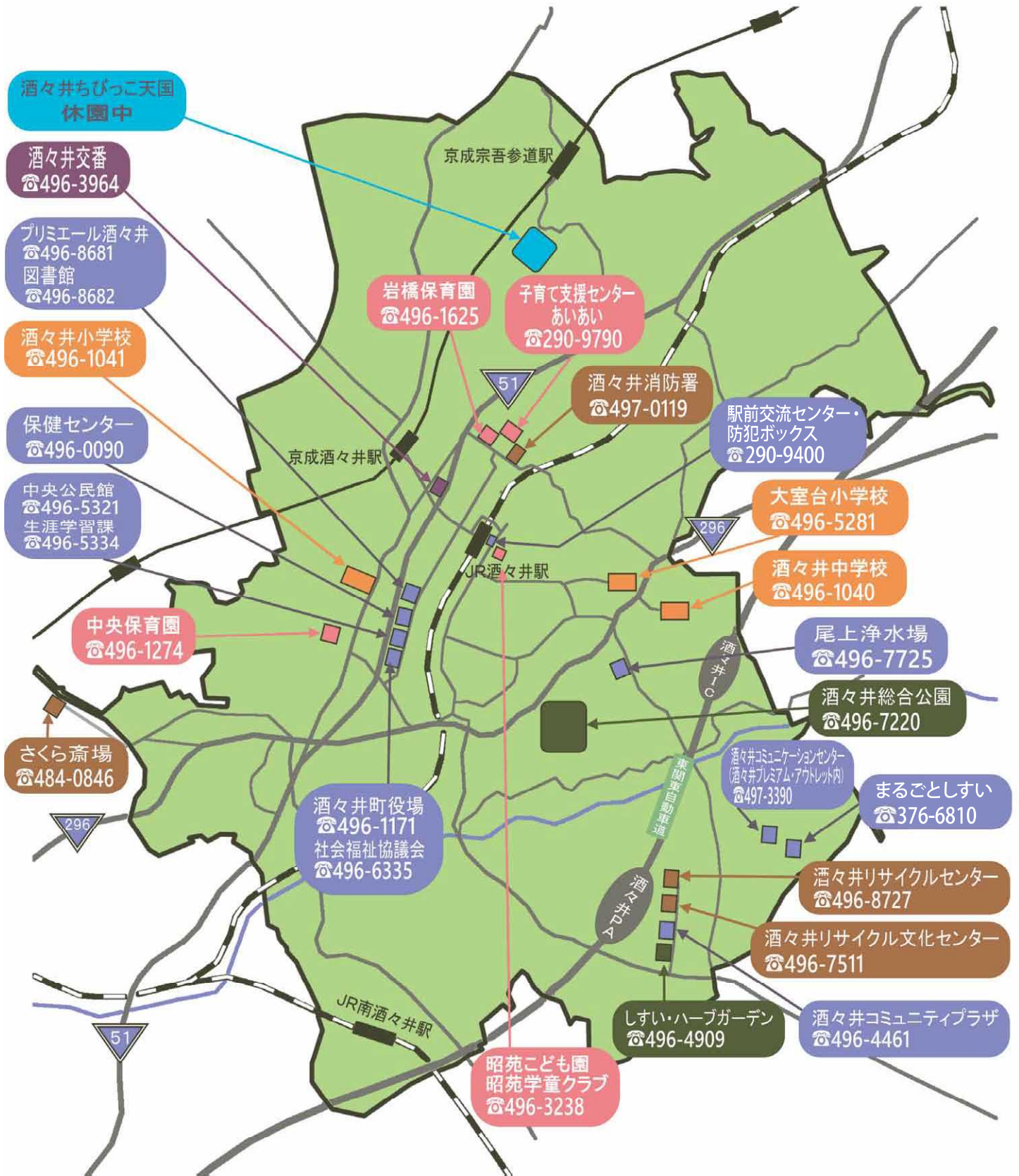


町マスコットキャラクター
井戸っこ（しすいちゃん）



「酒々井の教育」推進マスコットキャラクター
勝っタネ!くん

おもな公共施設



● 酒々井の民話

1 日本一古い町

酒々井町は「日本一古い町」です。国内で一番古い約3万4千年前のムラがあり、約500年前に本佐倉城が造られた時から約400年間は城下町でした。

そして、明治22（1889）年に今の酒々井町になります。

酒々井町は水と緑に囲まれ、人々が住みやすいだけでなく、多くの人々がおとずれる古くからの歴史ある町なのです。



桜山（^{つみやま}築山）からの^{けしき}景色

2 「酒々井百話」

酒々井町には、昔話や^{でんしやう}伝承とよばれる親から子に語りつがれてきた昔のお話や言い伝えがたくさんあります。

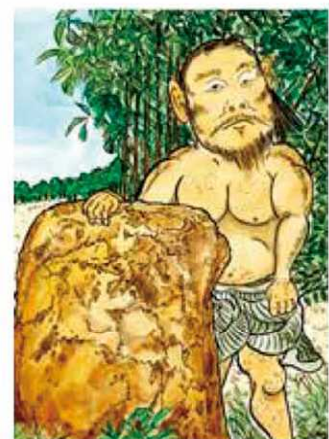
何百年も町が消えずに続いていたので、たくさんのお話が伝わりました。お話はふしぎな話、大人の話、子どもの話、土地の話など約200話あります。酒々井町のたくさんのお話という意味で「酒々井百話」と呼んでいます。



印旛沼の主



不動の首は



魔三郎石

3 いろいろなお話

「酒々井百話」には子どものお話をはじめ、^{おもしろ}面白い話、^{こわ}怖い話など、いろいろなお話があります。

お話の分け方	お話の名前	お話の場所
子どものお話	一つくれねばとうせんぼ（みかんの道）	上本佐倉
	パカパカにきたよ（もぐら退治は魔法の杖で）	尾上と飯積
	人形送り（お弁当もって、いざ勝負）	酒々井ほか
不思議なお話	酒の井（井戸からお酒）	酒々井
	カンカンムロ（巖島山の隠れ里）	酒々井
	小僧と天狗（空を飛んだ小僧さん）	本佐倉
	高野台の観音様（どこにも行きません）	墨
先生のお話	善龍寺のお師匠様（一番古い寺子屋）	上本佐倉
	酒飲みの師匠様（書道の達人）	酒々井
	青樹堂の平兵衛さん（にぎやかな寺子屋）	酒々井
	一番古い小学校（女先生のお話）	墨
桜のお話	墨の薄墨桜（色の変わる花びら）	墨
	文殊寺の桜（七色桜）	本佐倉
	桜山（船の目印）	酒々井
	桜馬場（子どもの花見）	酒々井



「しすいみんわ絵本」その1（2018年発行）

「酒の井」「カンカンムロ」「^{こぞう}小僧と^{てんぐ}天狗」「文殊寺の桜」のお話を3冊の絵本にしました。

4 酒々井と酒の井

「酒々井百話」は、酒々井町のいろいろな場所がお話の舞台^{ぶたい}となっています。

酒々井で一番有名なお話「酒の井」は、「親を思う気持ちが天にとどき、井戸水が酒となり、その井戸のある場所を酒々井と呼ぶようになった」というお話です。

今でも酒々井小学校の近くには「酒の井の碑」があることから、「酒の井」のお話は、古い時代から伝わっていたのでしょう。

酒々井に住む人たちは、このお話が大好きで、親から子に何百年も「酒の井」のあった場所としてお話を伝えてきたのです。



「酒の井」(影絵)

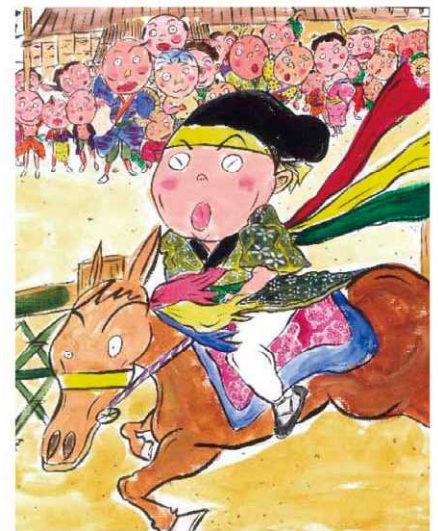


酒の井の碑

昔むかし、印旛沼の近くの村に年老いた父親と孝行^{こうこう}息子^{むすこ}が住んでおった。父親はたいそう酒好きで、親思いの息子は毎日一生けんめに働いて父親に酒を買って帰っていた。

ところがある日、どうしても酒を買う金がなくて、とぼとぼ歩いて家に帰ろうとしていた。その時、道端^{みちばた}の井戸からとてもよい香りがしてきた。井戸の水をくんでなめてみると、それは本物の酒だった。さっそく帰って父親に飲ませると、「こりやうまい酒だ。ありがたい、ありがたい」とたいそう喜んだ。

息子はそれから毎日井戸から酒をくんで飲ませた。ところがこの酒は、他の人が飲むと、ただの水になってしまった。きっと、孝行息子のやさしさが天に通じたに違いないと、みんながほめたたえた。この酒の話が広まり、村もいつしか「酒々井」と呼ばれるようになったということじゃ。



酒々井の競馬^{きそいうま} (子ども)

お話の場所とお話

場所	お話	場所	お話
全体	25	柏木	9
本佐倉	38	伊篠	10
酒々井	47	尾上	7
中川	9	飯積	6
上岩橋	14	墨	14
下岩橋	3	馬橋	4

5 酒々井地区のお話

「酒々井百話」のうち、酒々井地区にはたくさんのお話が伝わっています。酒々井地区は佐倉の城下町で旅人のとまる宿屋や荷物を送る問屋、馬を取引する市場などがあり、百年前までは多くの人の集まるにぎやかな町でした。

町は上宿、中宿、下宿、横町に分かれ、宿屋8軒、そば屋、茶屋、とうふ屋、もち屋、甘酒屋、油屋、こんにやく屋、せんべい屋、ひもの屋、大工、馬医、屋根屋、桶屋、井戸屋、足袋屋、鞍屋、馬具屋、あんま屋などの店がありました。また中宿の南側、馬市場の開かれた野馬会所の並びには牧士頭、牧士、勢子回し、綱掛、捕手、など会所に勤める人々の家々が並んでいました。

また酒々井では毎年3つの祭りが開かれ、多くの人々が参加していました。

- ・本佐倉城鎮守祭礼、千葉氏祭り（8月12日）
- ・麻賀多神社、酒々井全体の守り神（10月15日）
- ・八坂神社、酒々井宿の守り神（8月16・17日）

酒々井町が生まれたのは約千年前です。古くからの町である酒々井を歩くと、たくさんのお話に出会うことができます。



酒々井宿のお話

1	酒の井のこと
2	家康と酒々井のこと
3	佐倉六町酒々井町のこと
4	牧士のこと
5	酒々井町の草分けのこと
6	酒々井宿の一里塚と高札場
7	酒々井町の街並み
8	宿屋（やどや）のこと
9	酒々井の三祭りのこと
10	酒々井祇園のこと
11	鎮守八幡神社祭礼のこと
12	麻賀多神社祭礼のこと
13	牡丹餅喜兵衛三十石
14	黄門様と酒々井宿
15	一つくんねど通せんぼっこ
16	勝蔵院とお不動様のこと
17	東台の不動堂のこと
18	横町二寺二社のこと
19	佐倉五ヶ寺東光寺のこと
20	青樹堂のこと
21	侍ヤシキのこと
22	大台山のこと
23	法華塚のこと3
24	八抱えの松のこと
25	しがらき茶屋のこと
26	百とらず
27	桜山のこと

酒々井のお話





←この図は酒々井宿の道ぞいのお話を江戸時代の地図に描きました。図の数字は、表「酒々井宿のお話」の数字を表しています。

● 酒々井の古写真「かつての印旛沼、そして酒々井町」 1





撮影 川島俊彦氏

昭和27	印旛沼遠望 ^{えんぼろ}	場所	酒々井町中川
		<p>下り松（さがりまつ）の終点あたりの小高い「築山^{つぎやま}」の上からのながめです。（印旛沼の干拓前）</p> <p>手前の「わらぶき屋根」は中川地区で、その遠くに見えるのが「印旛沼」です。</p> <p>晴天の日は茨城県の「筑波山^{つくばさん}」（標高877m）のすばらしい景色が見られます。</p>	
昭和27	築山からの遠望	場所	酒々井町酒々井
		<p>酒々井小から300メートルほど下った成田街道と酒々井～宗吾線の交差点のところにある小高い「築山」の頂上から成田方面をながめたところでは、</p> <p>長い白い道は旧51号線で右側が現在の中央台1丁目あたりです。この築山は、明治天皇が明治14年、15年の2度にわたる三里塚行幸の際に、ご休けいをされたところで、酒々井随一の景色をながめられたところでは、</p>	
昭和27	本佐倉城跡をのぞむ	場所	酒々井町本佐倉（向根古谷） ^{ねごや}
		<p>酒々井町本佐倉の向根古谷からのながめです。</p> <p>左側の小高い丘は、平成10年に「国指定史跡」になった「本佐倉城跡」です。築城は、文明年間^{ちくじょう}で千葉輔胤^{ちばすけたね}から重胤^{しげたね}までの9代、約100年間使用されました。</p> <p>千葉氏は、天正18（1590）年、豊臣秀吉の小田原攻めによって北条氏^{ほうじょう}と共に滅び、城として使われなくなりました。その後、430年ほどの眠りについでいます。</p>	
昭和27	駅からの筑波山遠望	場所	酒々井町中川
		<p>旧京成酒々井駅から筑波山をのぞんだ風景です。</p> <p>大正15（1926）年開業された印旛沼に一番近い駅です。中央部には干拓前の沼が見られます。</p> <p>現在では2階建てのりっぱな建物となり、快速電車も停車するようになりました。</p>	





酒々井の古写真「かつての印旛沼、そして酒々井町」 2

昭和27	下り松の一本松	場所	酒々井町酒々井
		<p>通称「下り松の一本松」と呼ばれていたものです。酒々井小から成田方面へ200メートルほど坂を下ったところに、一本の松がありました。江戸末期には旅人も恐れるうっそうとした細いまがりくねった道だったとのことです。砂利道を走る定期ボンネットバスは振動でハンドルもひび割れが入ったほどの砂ぼこり街道です。これも成田街道の名ごりです。</p>	
昭和28	旧印旛沼遠景	場所	酒々井小学校グラウンドより北西方面
		<p>印旛沼のほぼ中央部の景色です。現在の酒々井小のグラウンドから平賀の方面をのぞんでいます。中央部のポプラ並木は酒々井と佐倉の境界となります。先方の白い部分は干拓前の沼であり、手前に京成電車が通り、右側が成田方面です。</p>	
昭和28	春の堤風景	場所	佐倉市浜宿
		<p>浜宿河岸には小舟がたくさんあり、使用しない時は、水を入れ沈めてありました。沼の土手には牛が放牧され、農婦が背負いかごを背に、手には給水のための「ヤカン」を手にしています。夏には手前にはえている「マコモ」の間から「ギョッキョツ」という鳥のヨシキリの声が聞こえるのどかな場所でした。</p>	
昭和28	舟のある風景	場所	佐倉市浜宿
		<p>前の画面の土手から北方をのぞんだものです。マコモの間の濠（みお）を通り、サツパ舟が進みます。漁師は夫婦で漁をします。舟に積んでいるアシの軸で作った竿で「ウナギ」などをとります。「ウナギの一本釣り」といわれ、釣り針にえさのミミズをつけ、夕方、各所にしかけて、朝引きあげます。</p>	





酒々井の古写真「かつての印旛沼、そして酒々井町」 3

昭和28	漁師のかたらい	場所	佐倉市浜宿
		<p>漁師仲間の語らいです。 漁の合間に世間話をしている様子です。</p> <p>いろいろな漁師がいますが、とれる魚は、コイ、ナマズ、フナ、カモチン（雷魚）、雑魚、エビガニなどの他、沼底の泥の中にはタンカイ（カラス貝）がいました。</p>	
昭和28	太公望（釣り師）	場所	佐倉市浜宿
		<p>浜宿河岸での太公望（たいこうぼう）です。 全く釣れない時もありますが、腰べんとうでがんばります。たたずんでいるとそよ風によって来る沼の「におい」が郷愁をさそい、つまらない悩みも消えて、明日への力がわいてきます。</p>	
昭和28	川干しをする人	場所	佐倉市浜宿
		<p>「川干し」でフナやコイ、ナマズなどをとる方法です。昭和30年代頃は小さな小川をせき止め、バケツで水をかき出します。水が少なくなると、魚があばれるので、それをすくいあげます。 持ち帰った獲物は家で天ぷらや煮物にして食卓にぎわせます。</p>	
昭和28	獲物をさがす	場所	佐倉市浜宿
		<p>子ども達は、橋の下などにいる「モクゾウガニ」（モクズガニ）を探します。 この橋は、沼へ注ぐ小川に作られたものです。材料は、くぬぎ材で、電車の枕木の廃材です。 当時の沼への道は狭いため、このような場所でもバケツや釣り竿を持って出かけることになります。</p>	

酒々井の古写真「かつての印旛沼、そして酒々井町」 4

昭和30	えものの 獲物を分ける	場所	佐倉市浜宿
		<p>とれた獲物はジャンケンによってケンカをしないで等しく分け合います。</p> <p>仲良しの子ども達は、一日中、沼の周りをかけずり回り、小さな生き物を取り、お互いに親しくなっています。</p>	
昭和30	犬とあそぶ	場所	佐倉市浜宿
		<p>「ショーユヤの池」の底はアラ砂であり、子ども達は動物と一緒に水あびをしていました。</p> <p>犬を連れ込んで、それぞれの子ども達は自由に水をかけ、ずぶぬれになるのも忘れ一日をすごします。</p>	
昭和30	はしゃぐ	場所	佐倉市浜宿
		<p>近所の子供達はそれぞれ水あびを楽しんでいます。</p> <p>少し深みに行くと身体を浮かしてお互いに沈み込まないように対こう意識をもやし、一日が過ぎていくのも忘れます。</p>	
昭和30	「渡し船」へ急ぐ農婦 <small>のうふ</small>	場所	酒々井町中川
		<p>酒々井町中川地区での風景です。</p> <p>カゴを背おった農婦が酒々井町での農作物の販売を終え、渡し船を使って印旛村へ帰る道です。京成酒々井駅の北100メートル位からは、渡し船があり、唯一の交通手段でした。</p> <p>この道は現在の順天堂大学佐倉キャンパスへの道路にあたり、遠くには筑波山がのぞまれます。</p>	

酒々井の古写真「かつての印旛沼、そして酒々井町」 5

昭和30	渡し船	場所	酒々井町中川
		<p>昭和8年から昭和43年の中平橋が完成まで続けられた渡し船です。</p> <p>客がある程度集まると対岸の平賀^{ひらが}に向け、舟をこぎ出しました。船頭は竿^{さお}を使いますが、沼の中央部はどろが深いので、艀^ろを使います。</p>	
昭和30	たこあげ	場所	酒々井町（現成城台団地）
		<p>子ども達は正月近くになりますと友だち同士が集まり、「たこあげ」をして遊びました。</p> <p>顔見知りのため、遊びを通して親ぼくを深めました。ここは、現在「成城台団地」ができています。</p>	
昭和30	スイカわり	場所	酒々井町上本佐倉
		<p>夏の暑い日には、農家の庭を借りて行う「スイカわり」も遊びの一つです。遊び道具の少ない時代でしたので、みんな外遊びを通してなかよしになっていきました。</p>	
昭和30	洗たく板とたらいと井戸	場所	酒々井町上本佐倉
		<p>酒々井町は印旛沼に近い低地では、わき水に恵まれていましたが、台地では深い井戸^ほを掘ってもらい、井戸水で洗たくの水や炊事の水、風呂水^{おきな}を補っていました。これは、たらいと洗たく板を使って洗たくをしているところです。</p>	





酒々井の古写真「かつての印旛沼、そして酒々井町」 6

昭和35	酒々井小の旧校舎正面 <small>きゅうこうしゃ</small>	場所	酒々井町酒々井
		<p>酒々井小学校の旧校舎の正面写真です。</p> <p>明治41年酒々井、墨、岩橋の3つの尋常小学校を統合し、設置しました。昭和16年から22年まで国民学校と名前を変えました。</p> <p>平成21年には創立100周年記念式典が催されました。正面玄関の上部には「八咫鏡」（やたのかがみ）をデザインした校章がはめ込まれています。</p>	
昭和39	聖火酒々井を走る <small>せい か</small>	場所	酒々井町上本佐倉
		<p>第18回のオリンピック大会は、昭和39（1964）年10月10日東京国立競技場で開催され、それに先だってトーチの聖火は大勢の人に引きつがれ、日本全国のいろいろな土地を回りました。</p> <p>酒々井町では、舗装された新しい国道296号（成田街道）を成田から佐倉方面へ向かいました。</p> <p>この時のトーチとユニフォームと記念メダルが酒々井小学校の郷土資料館に展示されています。</p>	
昭和40	旧宿場町風景	場所	酒々井町酒々井
		<p>酒々井町は江戸時代の宿場町で、成田街道筋の家なみには旧家が並んでいました。酒々井地区の八坂神社近くの写真です。</p> <p>先の方に見える筋家の建物は安政年間（1854年頃）に建てられたという由緒ある家で、昔は「油屋」だったようです。</p>	
昭和42	伊篠の松並木 <small>いじの まつなみ き</small>	場所	酒々井町伊篠
		<p>昔は、延長70～80メートルにもおよんだ昭和43年に県指定の文化財に指定された通称「伊篠の松並木」です。旧成田街道で定期バスも通っていましたが、新しく国道51号ができ、現在は松食い虫でほとんどかかれてしまいました。江戸時代の成田山にお参りする旅人にとって、よき休けい場所となったものと思われます。</p> <p>記録によれば、切り株からの年輪でみた松の年れいは、350年はあったようです。</p>	

酒々井の古写真「かつての印旛沼、そして酒々井町」 7

昭和42	SLとディーゼルの交換風景	場所	酒々井町馬橋 ^{まばし}
		<p>酒々井町にはJRの鉄道が2駅、京成本線の2駅がありますが、これは馬橋にある「南酒々井駅」の構内です。</p> <p>総武本線の下り銚子行き蒸気機関車（SL）と上り千葉行きのディーゼル車の交かん風景です。</p> <p>昭和44年には電化されて複線になり、SLのなくなる直前の風景です。</p>	
昭和42	トンネルを出るSL	場所	酒々井町横町
		<p>酒々井町下台の国道296号をくぐる「下台トンネル」です。</p> <p>昭和43年に千葉～成田間が電化され、トンネルは複線のため2本となりましたが、これは単線の時の写真です。</p>	
昭和44	鉄橋を渡るSL	場所	佐倉市長熊
		<p>総武本線の南酒々井駅～佐倉駅間を走る蒸気機関車です。</p> <p>酒々井町馬橋と佐倉市の八木の間鉄橋を渡るシーンで、SLがなくなる直前の写真ですが、7両編成の列車の最前車は郵便専用の車両でした。機関車のプレートには「C58156」の文字が入っています。</p>	
昭和45	沼中央部の遠望	場所	佐倉市臼井（舟戸大橋）
		<p>西印旛沼にかかる舟戸大橋からのながめです。</p> <p>臼井から印西市（印旛村師戸）にかかる橋です。舟戸大橋の臼井田側の岸边にはボートプールがあり、砂浜は海岸を思わせ、釣り師や観光客でにぎわいます。その延長上にある西印旛沼の風景が広がります。</p>	

酒々井の古写真「かつての印旛沼、そして酒々井町」 8





















昭和47	酒々井小の旧校舎 <small>きゅうこうしゃ</small>	場所	酒々井町酒々井
		<p>旧酒々井小学校の低学年用の校舎です。2教室で、1年生は白組、赤組の2クラスでした。</p> <p>1、2年の低学年の遠距離の児童は墨分教場<small>すみ</small>や岩橋分教場で学び、3年生になると本校へ通学し、それぞれ白組、赤組に編入<small>へんにゅう</small>しました。</p>	
昭和48	旧酒々井駅	場所	酒々井町中央台
		<p>成田線の旧酒々井駅です。</p> <p>明治30年に開業され、太平洋戦争の時にはこの駅から戦争に行く兵士が日の丸の旗<small>はた</small>に見送られ、戦場に向かいました。</p> <p>現在では電化、複線化され、2階建ての立派なものになりました。快速電車も停車するようになりました。</p>	
昭和50	旧中学校の正門	場所	酒々井町酒々井
		<p>昭和22年に、新しい学制として、「6・3・3制」(小学校6年・中学校3年・高校3年)が公布<small>こうふ</small>され、酒々井小学校の西側の畑の中をならし、新制中学校が開校しました。昭和54年、尾上地区<small>おがみ</small>に現在の新校舎ができるまでの約30年間使用されました。</p>	
昭和60	朝市	場所	酒々井町役場の駐車場
		<p>毎週日曜日の朝、役場の駐車場で行われる朝市です。</p> <p>昭和57年頃から開かれ30年以上もの長い間、町民に新鮮な野菜を提供しています。</p> <p>町の農家さんが早起きで作る巻き寿司<small>まきずし</small>やつけ物類もたくさんあるので、6時前から行列ができてにぎわいます。</p>	

● 酒々井の里山^{ずかん}図鑑 1 (草花)





















本佐倉城跡^{しゅうへん}周辺の生き物たちです。人知れず咲く草花、つながりの中でくらす虫たち。彼らは今を生きるために、この里山^{さまざま}で様々な生命のドラマを見せてくれます。

フキノトウ (フキ)	ハンショウヅル	ルリムスカリ	ゼンマイ
			
ムラサキケマン	ムラサキハナナ	タチツボスミレ	ハナニラ
			
ニリンソウ	ヤブカンゾウ	コヒルガオ	クサノオウ
			
オモダカ	カントウヨメナ	オオジシバリ	キクイモ
			
カラスウリ	栗の実 (クリ)	ミツバアケビ	オオオナモミ
			





















酒々井の里山図鑑 2 (草花)

ハンゲショウ	ヘビイチゴ	イモカタバミ	フジ
			
ウラシマソウ	フサスイセン	シャガ	ソクズ
			
スズランスイセン	キブシ	カラスノエンドウ	ヤマブキ
			
スイセン	ブラックベリー	クサイチゴ	クサイチゴの実
			
ウキクサ	クレソン	ヒメスイレン	ガマズミ
			











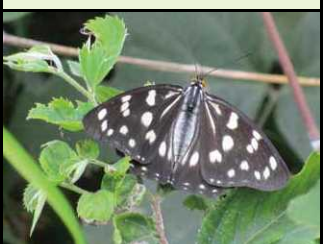







酒々井の里山図鑑 3 (草花)

シロツメクサ	アカツメクサ	イヌタデ	ハルジオン
			
クズ	ツユクサ	ニワゼキショウ	ノハラアザミ
			
キキョウソウ	ユウゲショウ	オオムラサキツユクサ	タガラシ
			
ヒメオウギスイセン	スイカズラ	クサギ	ヤブミョウガ
			
カラムシ	オオイヌノフグリ	ホタルブクロ	ゼニアオイ
			





















酒々井の里山図鑑 4 (草花)

カタクリ	ヒメオドリコソウ	ツルボ	ヒレタゴボウ
			
センニンソウ	ヤマユリ	ツリフネソウ	ウツギ
			
マルバルコウソウ	ムラサキカタバミ	イチビ	キツネノマゴ
			
ジロボウエンゴサク	ミゾソバ	ミミナグサ	シロバナタンポポ
			
アキノノゲシ	ハキダメギク	ノコンギク	コセンダングサ
			

酒々井の里山図鑑 5 (昆虫)

モンキチョウ	ヒロオビトンボエダシャク	キタテハ	イチモンジセセリ
			
アオスジアゲハ	アゲハ	クロアゲハ	キアゲハ
			
アカボシゴマダラ	キマダラセセリ	ホタルガ	ゴマダラチョウ
			
ヤマトシリアゲムシ	ツマグロヒョウモン	ヤマトシジミ	オオミノガ(みのむし)
			
オオウラギンスジヒョウモン	ヒメウラナミジャノメ	サトマキマダラヒカゲ	ユウマダラエダシャク
			


















酒々井の里山図鑑 6 (昆虫)

オニヤンマ	オニヤンマ	コヤマトンボ	シオカラトンボ(交尾)
			
シオカラトンボ(オス)	シオカラトンボ(メス)	オオシオカラトンボ(オス)	オオシオカラトンボ(メス)
			
オオシオカラトンボ(交尾)	ハラビロトンボ	アキアカネ	アキアカネ(交尾)
			
ショウジョウトンボ	ショウジョウトンボ	ウスバキトンボ	ノシメトンボ
			
ハグロトンボ	オオアオイトトンボ(交尾)	オオアオイトトンボ	オオアオイトトンボ
			

酒々井の里山図鑑7（昆虫）

ムラサキシジミ	ベニシジミ	ルリシジミ	ウラギンシジミ
			
モンキチョウ	モンシロチョウ	イチモンジセセリ	チャバネセセリ
			
ウスキツバメエダジャク	クロコノマチョウ	スジグロシロチョウ	ミカドガガンボ
			
セグロアシナガバチ	クマバチ	ニホンミツバチ	クルマバッタ
			
ゴマダラカミキリ	ラミーカミキリ	アオカナブン	ナナホシテントウ
			





酒々井の里山図鑑 8 (昆虫)

タマムシ	ショウリョウバッタ	オンブバッタ	クサキリ
			
クルマバッタモドキ	ツチイナゴ	コバネイナゴ	ヒグラシ
			
ニイニイゼミ	ミンミンゼミ	アブラゼミ	セミの幼虫
			
オオカマキリ	チョウセンカマキリ	カマキリの卵	イナゴ (モズのはやにえ)
			
ウスカワマイマイ (カタツムリ)	カブトムシの幼虫	カブトムシの蛹化 (ようか)	カブトムシ
			


酒々井の里山図鑑 9 (昆虫など)

ダイミョウセセリ	コミスジ	アカボシゴマダラ (白化型)	ヒメアカタテハ
			
キタキチョウ	ベッコウハゴロモ	コジャノメ	チョウトンボ
			
オオトビサシガメ	キイトンボ (交尾)	ヒメジャノメ (交尾)	シロテンハナムグリ (交尾)
			
アゲハチョウ (水飲み)	なかよし	ショウリョウバッタ (交尾)	ヒラタシデムシ (カブトムシ)
			
くもの巣の芸術	捕食するノシメトンボ	カマキリ (トンボ)	アオダイショウ
			
















酒々井の里山図鑑10（鳥・動物・水辺の生物）

チュウサギ	サシバ	カルガモ	コヨシキリ
			
モズ	ケラ(モズのはやにえ)	アオジ	セグロセキレイ
			
ニホンアマガエル	トウキョウダルマガエル	ニホンアカガエル	シュレーゲルアオガエル
			
クサガメ	アメリカザリガニ	ザリガニの巣穴	サワガニ
			
アズマヒキガエルの卵	アカガエルの卵	タニシ	カワニナ
			

酒々井の里山図鑑11（里山のドラマ）

ヒシバツタ（脱皮）	ヒメアカタテハ（クモの巣）	クモの子を散らす	シオヤアブ（交尾）
			
モンシロチョウ（交尾拒否）	モンシロチョウ（交尾）	ベニシジミ（交尾）	カノコガ（交尾）
			
ヒラタシデムシ（セミの幼虫）	ヒラタシデムシ（ミミズ）	忍者？クロコノマチョウ	生き物たちの生と死
			
ニホントカゲ	ニホンカナヘビ	ジョロウグモとセミ	ジョロウグモとトンボ
			
ハクビシン	ハクビシンの糞	ニホンノウサギ	ノウサギの糞
			

酒々井の里山図鑑12（里山のドラマ）

春	夏	秋	冬
			
本佐倉城跡	つくし	ツボミオオバコ	ガクアジサイ
			
落花生畑	落花生の花	落花生の収穫	ぼっち（落花生）
			
紅葉	ジュズダマ	ヒガンバナ（曼珠沙華）	ツバメの子育て
			
竹の子	カマキリの戦闘モード	ミノムシ	ミノムシのマンション
			

酒々井の歴史



中川の景

酒々井町の歴史について

酒々井町では旧石器時代の墨古沢遺跡から石器が発見されていて、少なくとも今から約3万4千年以上前の昔から人が住んでいたことがわかります。その後の縄文時代の生活の中で使われた土器のかけらが、町の台地で多く見られ、弥生時代の遺跡や古墳時代の古墳も発見されています。奈良時代から江戸時代においても、この町は人々がくらす住みやすい場所でした。古代には、古東海道がつくられ、中・近世には、成田道(佐倉道)、小見川道、香取道、銚子道などの交通の要しようの地として、人々の往来の盛んな地域でした。

この長い歴史のなかで、戦国時代には下総の国を治めた千葉氏が本佐倉城をつくり、約100年にわたり、政治・経済の中心地として栄えました。

江戸時代には幕府が直接、牧場を管理する役所のある町、成田道の宿場町としてにぎわいました。そして、明治22年の町村制施行の際に、近くの16町村が合併し、酒々井町が誕生しました。

昭和50年代には、大規模な住宅開発に伴う急激な人口増加により、それまでの農業中心の町から、都市機能を備えた住宅都市に変わり、人口2万人を超える町へと発展しました。

時代	酒々井町	日本	ドルフェン市(ドイツ)・世界	
旧石器	<p>約20万年前 上岩橋貝層①</p> <p>約15万年前 クジラの化石</p>  <p>クジラの骨の化石</p>	<p>・南方からナウマンゾウ、北方からマンモスがやってきた。</p> 	<p>15万年～14万年前頃</p> <p>・旧人（ネアンデルタール人）が洞くつの生活で用途別の石器を作成、埋そうも行う。</p>	
	<p>氷期の日本は現在の長野県の高原のような気候であった。ナウマンゾウやオオツノジカなどの大型動物を追って人々が移動し、打製石器を使った狩猟生活が中心であった。</p>	<p>約34000年前 墨古沢遺跡②</p>  <p>石器</p>	<p>約34000年前</p>  <p>石器づくり</p>	<p>・旧人は3万5千年前までに中央アジアから東北アジアにかけて活動する。</p>
	<p>約15000年前 尖頭器(やりの先)が出現</p>  <p>尖頭器</p>	 <p>狩り</p>		
	<p>気候が暖かくなり大型動物が姿を消し、木の実などの採集中心の生活に変化した。たて穴住居での定住生活をし、食糧の加工などに土器を使用した。</p>	<p>約13000年前 土器・弓矢が出現</p>  <p>縄文土器</p>	<p>約5000年前 墨木戸遺跡③</p>  <p>土器づくり</p>	<p>1万2千年～7千5百年前</p> <p>・ヘーニング付近で石の人工遺物の出現</p> <p>7500年～4200年前</p> <p>・ドルフェン地域で石器と陶器の出現</p>
弥生	<p>大陸から渡来人がやって来て、稲作や金属器が伝わった。はじめは小さな集落（ムラ）であったが、大規模な政治的集団（クニ）に変化した後、土地や蓄えを求めて戦いが起こるようになった。</p>	<p>約2400年前</p> <p>・大陸から稲作伝来</p> <p>57年 倭の奴国王が漢に使いを送り、金印をあたえられる。</p>  <p>239年 卑弥呼が魏に使いを送る。</p> 	<p>4200年～2800年前</p> <p>・ドルフェン地域で陶器と装身具の出現</p> <p>2800年～2000年前</p> <p>・ドルフェン地域で陶器とコインの出現</p> <p>紀元後0年～450年頃</p> <p>・ドルフェンを結ぶ街道がつくられる。</p> <p>375年 ゲルマン人の大移動</p>	
	<p>100年頃 佐倉市大崎台で環濠集落がつくられる。</p> 			
古墳	<p>近畿地方を中心とした連合国家（ヤマト政権）が成立した。有力な豪族の中から大王と呼ばれるリーダーが誕生し天皇となる。権力の象徴として、古墳と呼ばれる大きな墓がつくられるようになる。</p>	<p>400年後半頃 大鷲神社古墳がつくられる。 ・石枕が出土</p>  <p>石枕</p>	<p>421年 倭の五王が宋に朝貢する。（～478年）</p>	
	<p>500年頃 鬼塚古墳がつくられる。</p>	<p>538年（552年）仏教が伝わる。</p>	<p>6世紀～7世紀</p> <p>・キルヒシュテッテン近くの埋そう地で人骨と共に剣やベルトの道具等の副そう品の出現</p>	

※ドルフェン〔酒々井町が2017年から交流している市〕

時代	酒々井町	日本	ドルフェン市 (ドイツ)・世界
飛鳥 593 〱	聖徳太子が摂政になり、中国（隋）の文化や制度を学び、天皇中心の国家をめざすが、蘇我氏などによる政争が目立つようになる。その後、法律や戸籍などを作り中央集権的な国家整備を進める。 600年初め頃 狐塚古墳がつくられる。 600年後半頃 カンカンム口横穴群がつくられる。 ・鉄刀、銅椀が出土  銅 椀	593年 聖徳太子が摂政となる。 604年 憲法十七条を制定する。  645年 大化の改新が始まる。 663年 白村江の戦い 672年 壬申の乱 701年 大宝律令ができる。 ・国名が「日本」となる。	589年 隋が中国統一 618年 隋が滅び唐が建国 676年 新羅が朝鮮統一
奈良 710 〱	奈良を都とする。土地や身分制度が整えられる。人口増加により各地で開拓が進み、貴族や寺社の私有地（荘園）が発生する。聖武天皇が仏教の力で平和な世の中にしようとして大仏をつくる。 700年末期頃 上宿遺跡 ・帯金具が出土  帯金具	710年 平城京に都がうつされる。 752年 東大寺の大仏が完成する。 	773年 書類にドルフェンの名前が現れる。
平安 794 〱	仏教勢力が強くなり都を京都に移す。藤原氏が天皇家と親戚関係で築いた貴族中心の社会の中で、下級貴族たちは地方で武芸をみがき、貴族の土地や財産を守るための武士団を形成していった。 807年 吉祥寺が建てられる。 1155年 文書に小上（尾上）・岩橋の地名が書かれる。	794年 平安京に都がうつされる。 935年 平将門の乱 939年 藤原純友の乱 1016年 藤原道長が摂政となる。 1156年 保元の乱 1159年 平治の乱 	907年 唐が滅びる。 936年 高麗が朝鮮統一 1080年～1140年 イーゼン川両岸に貴族の屋敷が建築される。
鎌倉 1185 〱	武士団で有力な源氏と平氏の争いで源氏が勝利し、鎌倉に幕府を開き武家政権となったが、元（中国）の襲来後、家来に恩賞を払えずに弱体化し、天皇側について家来の足利氏らにより滅亡する。 1100年後期頃 長福寺の仏像がつくられる。 1243年 東光寺が建てられる。  仏 像	1192年 源頼朝が征夷大将軍になる。 1221年 承久の乱 1274年・1281年 元が日本を攻める。 1333年 鎌倉幕府が滅びる。 1336年（～92年） 南朝と北朝の対立(南北朝時代)	1206年 チンギス=ハンがモンゴル民族統一 1229年～1237年 ドルフェンに市場を開く。 1270年 町として公認される。 1271年 モンゴルが国名を元とする。 1324年 ドルフェンに下級の裁判権が与えられる。 1368年 明が建国され、元が滅びる。

時代	酒々井町	日本	ドルフェン市(ドイツ)・世界
<p>室町 1338)</p>	<p>足利氏が京都に幕府を開く。政権内部での家とく争いが激化して応仁の乱にまで発展し、戦国大名が登場する。京都周辺諸国を支配した織田信長が、足利氏を京都から追放して幕府が滅亡する。</p> <p>1383年 上岩橋(殿辺田)で下総式の板碑<small>いたまひ</small>がつくられる。 1406年 文書に墨・いつみ(飯積)・須々井(酒々井)の地名が書かれる。 1469年 千葉輔胤が本佐倉城を築城④ 1490年 千葉氏が城下町をつくり、祭りが始まる。</p>  <p>本佐倉城跡</p>	<p>1338年 足利尊氏が京都に幕府を開く。 1455年 享徳の乱 1467年 応仁の乱 1543年 ポルトガル人が鉄砲を伝える。 1549年 ザビエルがキリスト教を伝える。</p> 	<p>1390年 教会が建てられる。 1455年 初の市長の記載 1512年 市民がビールを生産する権利を買う。 1534年 ザビエルらがイエズス会をつくる。 1555年(～66年) 市民の中で新教の活動が行われた。</p>
<p>安土・桃山 1573)</p>	<p>織田信長は天下統一の目前で家来の明智光秀に裏切られ死去。その後、豊臣秀吉が統一を果たす。秀吉は朝鮮出兵をするが病死して撤退。天下分け目の関ヶ原の戦いで徳川家康が勝利する。</p> <p>1573年 本佐倉城が火災にあう。 1590年 豊臣秀吉の北条攻めで千葉氏が滅びる。 1591年 徳川家康が酒々井町を取り立てて酒々井宿ができる。</p>	<p>1573年 織田信長が室町幕府を滅ぼす。 1582年 本能寺の変 1585年 豊臣秀吉が関白になる。 1590年 豊臣秀吉が全国統一をする。 ・徳川家康の江戸入府 1600年 関ヶ原の戦い</p>  	<p>1581年 オランダがスペインから独立する。 1600年 イギリスが東インド会社設立</p>
<p>江戸 1603)</p>	<p>徳川家康が江戸に幕府を開く。鎖国を行い幕藩体制の確立とともに封建制度が完成する。歌舞伎など町人文化が栄える。西国諸藩を中心に討幕運動が起こり、15代徳川慶喜が政権を朝廷に返す。</p> <p>1614年 下総牧を佐倉牧・小金牧に分け、島田長右衛門が牧土になる。⑤ 1674年 徳川光圀(水戸黄門)が、地藏院に宿泊する。 1734年 六所神社が建てかえられる。 ・墨の獅子舞が始まる。⑥</p>  <p>獅子舞</p> <p>1798年 「成田の道の記」宿場町に十軒の宿屋があり、成田や芝山への旅人でにぎわう。⑦</p>  <p>酒々井駅の図</p>	<p>1603年 徳川家康が江戸に幕府を開く。 1613年 禁教令 1614・1615年 大坂の陣で豊臣家が滅びる。 1633年 鎖国の開始 1637年 島原の乱 1716年 徳川吉宗が享保の改革を行う。 1774年 杉田玄白が解体新書を出版 1782年 天明の大ききん 1787年 松平定信が寛政の改革を行う。 1821年 伊能忠敬の日本地図完成 1833年 天保の大ききん 1837年 大塩平八郎の乱</p> 	<p>1602年 オランダが東インド会社設立 1618年(～48年) 三十年戦争 1632年・1634年 スウェーデン軍(新教)が町を占領する。 1644年 明が滅び、清が中国を支配する。 1765年 産業革命 1776年 アメリカ独立宣言 1789年 フランス革命 1804年 ナポレオン皇帝即位 1808年 ドルフェンに地方自治の法律が適用される。</p>

時代	酒々井町	日本	ドルフェン市 (ドイツ)・世界
明治 1868)	<p>1847年 手習い塾 (青樹堂) がつくられる。</p>	<p>1841年 水野忠邦が天保の改革を行う。</p> <p>1853年 ペリー来航 </p> <p>1867年 大政奉還</p>	<p>1840年 アヘン戦争</p> <p>1856年 病院ができる。</p> <p>1861年 アメリカ南北戦争</p>
	<p>明治新政府が成立し、文明開化や富国強兵を推進する。封建制度にかわる中央集権体制を確立する。大日本帝国憲法が制定され、欧米諸国の制度・文物の移入による諸改革が急速に行なわれた。</p> <p>1872年 酒々井郵便局ができる。</p> <p>1889年 町村制施行で酒々井町になる。</p> <p>1897年 成田鉄道 (現JR) の酒々井駅ができる。</p>	<p>1868年 明治維新</p> <p>1889年 大日本帝国憲法が公布される。</p> <p>1894年 (~95) 日清戦争</p> <p>1904年 (~05) 日露戦争 </p>	<p>1871年 鉄道が開通する。 ・ドイツ帝国ができる。</p> <p>1898年 ドルフェン駅ができる。</p> <p>1904年 電灯がつく。</p>
大正 1912)	<p>第一次世界大戦で日本が好景気 (大戦景気) になり、資本主義が急成長し、一般大衆の政治的進出を背景に、政治、社会、文化の各分野において大正デモクラシーと呼ばれる民主化が進行した。</p> <p>1914年 南酒々井駅ができる。</p> <p>1916年 電気が通じて電灯がつく。</p> <p>1926年 京成酒々井駅ができる。</p> <p>1929年 酒々井町に電話が開通する。</p>	<p>1923年 関東大震災</p> <p>1937年 (~45年) 日中戦争 </p> <p>1941年 (~45年) 太平洋戦争</p> <p>1945年 広島・長崎に原爆投下・終戦 </p> <p>1946年 日本国憲法が公布される。</p> <p>1964年 新幹線開業・東京オリンピック開催 </p>	<p>1912年 中華民国がおこり、清が滅びる。</p> <p>1914年 (~18年) ・第一次世界大戦</p> <p>1920年 国際連盟が発足</p> <p>1929年 世界恐慌がおこる。</p> <p>1939年 (~45年) ・第二次世界大戦</p> <p>1945年 国際連合が発足</p> <p>1946年 民主的な選挙が戻る。</p> <p>1950年 朝鮮戦争</p> <p>1956年 ドルフェン市になる。</p>
	<p>1968年 町営水道ができる。</p> <p>1972年 現在の町役場ができる。  酒々井町役場</p> <p>1987年 リサイクル文化センターができる。</p> <p>1988年 総合公園ができる。</p> <p>2003年 プリミエール酒々井ができる。</p> <p>2013年 酒々井インターチェンジができる。 ・プレミアム・アウトレットができる。</p> <p>2016年 第1回「千葉氏まつり」</p> <p>2017年 国際交流派遣事業 (ドイツ)</p> <p>2019年 酒々井町制施行130年になる。(1889年~)</p>	<p>1970年 日本万国博覧会開催 (大阪)</p> <p>1972年 沖縄返還</p> <p>1986年 バブル経済始まる。(~91年)</p> <p>1989年 昭和天皇没</p> <p>1995年 阪神・淡路大震災</p> <p>2011年 東日本大震災</p> <p>2019年 平成の天皇退位</p> <p>2020年 東京オリンピック・パラリンピック開催 (2度目)</p>	<p>1965年 ベトナム戦争がはげしくなる。</p> <p>1969年 人類初の月面着陸 (アポロ11号)</p> <p>1972年 合併により人口1万人の都市になる。</p> <p>1989年 米ソ冷戦の終結</p> <p>1990年 東西ドイツの統一</p> <p>1993年 EUが発足</p> <p>2003年 イラク戦争</p> <p>2011年 文化センターができる。</p> <p> ノイシュバンシュタイン城 (ドイツ)</p>
平成 1989)			
令和 2019)			

酒々井の自然

【地層】 かみいわはしかいそう 上岩橋貝層(県の指定文化財)①



約20万年前にこの辺りが古東京湾であったところに堆積した貝層です。120種類以上の貝化石が含まれています。

【水辺】 印旛沼 (中央低地排水路)



むかしは、「香取の海」と呼ばれていた沼で、今では北印旛沼と西印旛沼を水路で結ばれ、ヘラ鮎などの魚を釣る人が訪れています。

【生物】 蛍 (ホタル) の里 (本佐倉)



「蛍の里を守ろう会」と地元の人々により保護されている池で、6月上旬ごろからホタルが見られます。

【谷津】 西井戸の里 (酒々井)



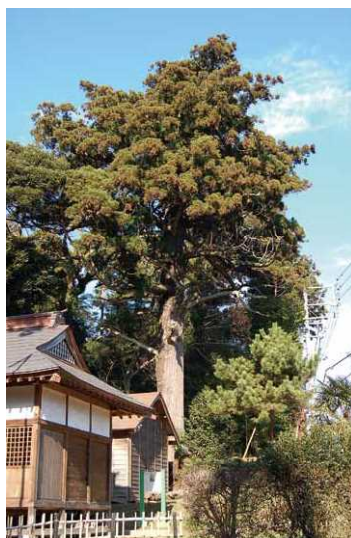
野鳥や昆虫などの生き物がたくさんすんでいるところで、「里山フォーラム」の方が中心になって整備している土地です。

【わき水】 泉の里 いづみ (飯積)



飯積の大杉のそばにある泉で、今でもわき水が出ています。近くには、泉福院という名の寺院もあるなど泉に関わりの深いところです。

【樹木】 いづみ 飯積の大杉(町の指定文化財)



伊豆神社の境内にある大杉です。推定の樹れいは、700年の大きな木です。町では一番大きな杉として、町の指定文化財となっています。

酒々井の文化

酒の井の碑 (ひ)



酒々井の地名の起源となった、親に飲ませた井戸の水が酒に変わったという酒の井伝説を伝える石碑として今に伝わっています。

上岩橋の獅子舞 (町の指定文化財)



毎年4月の第1日曜日に駒形神社、菊賀神社、大鷲神社の順で行われます。

双体道祖神 (そうたいどうそじん)



男像の右手が女像の肩にかけられ、その手が女像の右手が握り、双方の左手は1本の杖を握っている道祖神で、町では9組見られます。

墨の獅子舞 (県の指定文化財) ⑥



六所神社が建てかえられた1734年から始まり、毎年7月の第3日曜日に六所神社で行われます。

馬橋の獅子舞 (町の指定文化財)



毎年7月の第3土曜日に香取神社で行われます。獅子舞には、作物の豊作や家の中の安全などの願いが込められています。

道標 (みちしるべ)・追分不動道標



道標は現代の道路標識と同じで、分かれ道などで通行人が道に迷わないように、目的までの距離や方向を示すためにつくられました。旅人がふえた江戸時代から多く置かれるようになりました。

不動明王坐像の彫刻がある珍しい道標です。昔の成田街道は、成田山新勝寺等にお参りする旅人のために多くの道標がつけられました。

酒々井の歴史

すみふるさわ いせき 墨古沢遺跡 (旧石器時代) 国の指定史跡②



約3万4千年前の大昔の人が、ナウマンゾウなどの大型動物を求めて移動生活を行い、この地で石器をつくる作業などを行っていました。

すみこもった 墨小盛田古墳 (古墳時代)



古墳は権力者が力を示すために、多くの労働力を集めてつくりました。この古墳は長軸30m、短軸23m、高さ3mの長方墳です。

のまかいしょ 野馬会所跡 (江戸時代) ⑤



江戸幕府の牧場である佐倉七牧を管理していた野馬会所の跡です。放牧した馬をつかまえて、軍事、運搬、農耕用として取引しました。

すみきど 墨木戸遺跡 (縄文時代) ③



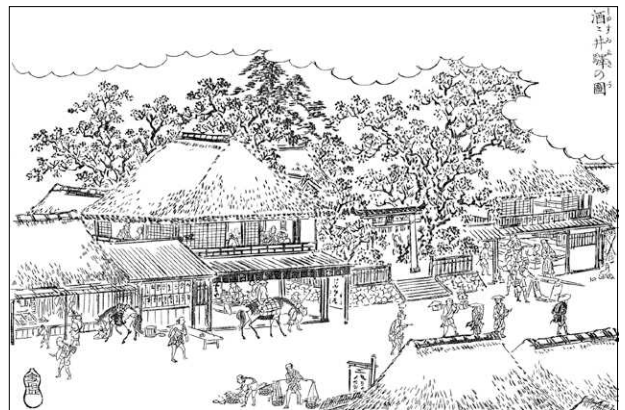
縄文時代には印旛沼（香取の海）の漁労と台地での採取・狩猟によって食料を手に入れて、定住生活を行っていました。

本佐倉城跡 (戦国時代) 国の指定史跡④



15世紀末に千葉氏の城として千葉輔胤によって築られました。約35haの広大な城跡には、城を守るための空堀や土のりなどが残っています。

酒々井駅の図 (江戸時代) ⑦



江戸時代の酒々井宿には10軒の宿屋があり、成田不動や芝山観音へのお参りが盛んになると大勢の旅人が通って行きました。

著作関係者・機関

●執筆・編集

酒々井学推進プロジェクトチーム（各校教務主任・研究主任）

- ・酒々井中学校 笹森 邦明先生
倉谷 昌史先生
- ・酒々井小学校 小出 潤先生
大野 香菜先生
- ・大室台小学校 藤川 敬介先生
依田 真弓先生

酒々井町教育委員会 学校教育課

指導主事 弦巻 妥
教育ファシリテーター 一場 郁夫

●協力者・協力機関

- ・千葉県立中央博物館 齊藤 明子氏（昆虫の同定）・天野 誠氏（植物の同定）
- ・八街市郷土資料館 進藤 泰浩氏（大昔のくらしイラスト画の提供）
- ・八千代市立郷土博物館 押元 常德氏（昔の道具イラスト画の提供）
- ・大本山成田山新勝寺（「酒々井駅の図」画像の提供）
- ・成田山霊光館（「中川の景」画像の提供）
- ・根古谷環境保全会 石渡 潤一氏（1年間の稲作作業）
- ・酒々井町商工会 青年部
- ・酒々井町で活躍するNPOなどの団体の方々（酒々井をささえる人々）
- ・広島東洋カープ 坂倉 将吾選手（酒々井の先輩）
- ・TBSテレビ「SASUKE」出場 日置 将士氏（酒々井のチャレンジャー）
- ・川島 俊彦氏（酒々井の古写真の提供）
- ・香川 元太郎氏（イラストレーター：本佐倉城イメージ画の提供）
- ・酒々井町役場 各課職員

酒々井学 副読本「いいね！酒々井」

発行日	令和2（2020）年3月31日
編集・発行	酒々井町教育委員会 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-1-1 TEL.043-496-1171
印刷	株式会社エイティー

★本書掲載の画像・イラスト等は無断で複写・転載することを禁じます。



名 前	
-----	--

※この副読本は中学校3年生まで活用するので大切に使いましょう。